Dell™ XPS™ M1210

オーナーズマニュアル

モデル PP11S

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告

 **メモ：**コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意：**ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。**

略語について

略語の一覧表は、151 ページの「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

モデル PP11S

2006 年 8 月　　P/N PF364　　Rev. A03

目次

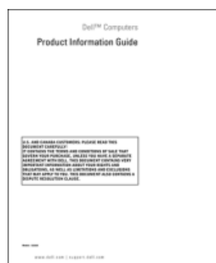
情報の検索方法



メモ : 一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。



メモ : 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか ?	こちらをご覧ください
• コンピュータの診断プログラム • コンピュータのドライバ • デバイスのマニュアル • ノートブックシステムソフトウェア（NSS）	**Drivers and Utilities CD（ResourceCD とも呼ばれます）** **メモ :**『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。 マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。CD を使用してドライバを再インストールしたり（102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照）、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行することができます（83 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。  CD に収録されている Readme ファイルでは、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。 **メモ :** ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。
• 安全にお使いいただくための注意 • 認可機関の情報 • 作業姿勢に関する情報 • エンドユーザライセンス契約	**Dell™ 製品情報ガイド** 

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• コンピュータのセットアップ方法	**セットアップ図** 
• サービスタグとエクスプレスサービスコード • Microsoft Windows ライセンスラベル	**サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス** ラベルはお使いのコンピュータの底面にあります。 • サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご参照の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。 

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A • サービスと保証 — 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報 • サービスおよびサポート — サービス契約 • 参照資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー • ダウンロード — 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート • ノートブック システムソフトウェア（NSS）— オペレーティングシステムをコンピュータに再インストールする場合は、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスをサポートします。NSS は、Dell コンピュータを正しく動作させるために必要です。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。	**デルサポートサイト — support.jp.dell.com** ノートブックシステムソフトウェアは、**support.jp.dell.com** にてダウンロードできます。
• ソフトウェアのアップグレードとトラブルシューティングのヒント • よくあるお問い合わせ（FAQ）、最新トピック、およびお使いのコンピュータ環境の全般的な状態	**デルサポートユーティリティ** デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされている自動アップグレードおよび通知システムです。このサポートは、お使いのコンピュータ環境のリアルタイムな状態のスキャン、ソフトウェアのアップデート、および関連するセルフサポート情報を提供します。デルサポートユーティリティは、タスクバーの アイコンからアクセスします。詳細は、85 ページの「デルサポートユーティリティ」を参照してください。
• Windows XP の基本情報 • プログラムとファイルの操作方法 • デスクトップのカスタマイズ方法	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3 問題に関連するトピックをクリックします。 4 画面に表示される指示に従ってください。
• ネットワークアクティビティ、電力の管理のウィザード、ホットキー、および Dell QuickSet でコントロールされるその他の項目に関する情報	**Dell QuickSet ヘルプ** 『Dell QuickSet ヘルプ』を表示するには、Microsoft® Windows® タスクバーにある アイコンを右クリックします。 Dell QuickSet の詳細に関しては、131 ページの「Dell™ QuickSet」を参照してください。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• オペレーティングシステムの再インストール方法	**オペレーティングシステム CD** **メモ：**『オペレーティングシステム CD』はオプションなので、出荷時にお使いのコンピュータに必ずしも付属しているわけではありません。 オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。お使いのオペレーティングシステムを再インストールするには、次のいずれかの方法を使用します。 • Microsoft Windows のシステムの復元 — Microsoft Windows のシステムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。 • Dell PC リストア — Dell PC リストアは、コンピュータをオリジナルの動作状態に戻します。Dell PC リストアは、必ずしもお使いのコンピュータに付属しているとは限りません。 •『オペレーティングシステム CD』— コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付属していた場合は、この CD を使ってオペレーティングシステムを復元できます。 詳細に関しては、104 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照してください。  オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities CD』（『Resource CD』）（102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照）を使用してコンピュータに同梱のデバイスのドライバを再インストールします。 **メモ：**注文されたオペレーティングシステムによって、CD の色が違います。

1

お使いのコンピュータについて

お使いのコンピュータの構成確認

お使いのコンピュータは、コンピュータ購入時の選択に基づいて、複数のビデオコントローラ構成のうちのいずれか 1 つの構成で提供されています。お使いのコンピュータのビデオコントローラ構成を確認するには、次の手順を実行します。

1. Microsoft® Windows® ヘルプとサポートセンターにアクセスします。手順については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。
2. **作業を選びます** で**ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する** をクリックします。
3. **マイコンピュータの情報** で **ハードウェア** を選択します。

マイコンピュータの情報 - ハードウェア 画面に、お使いのコンピュータに取り付けられたビデオコントローラのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。

正面図



1	カメラ	6	デバイスステータスライト	11	タッチパッドボタン
2	ディスプレイ	7	キーボードおよびワイヤレスステータスライト	12	タッチパッド
3	電源ボタン	8	メディアコントロールボタン	13	キーボード
4	シャッターボタン	9	マイク / ライン入力コネクタ	14	Dell MediaDirect™ ボタン
5	スピーカー（2）	10	ヘッドフォンコネクタ（2）		

カメラ — カメラの詳細については、43 ページの「オプションのカメラの使い方」を参照してください。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、31 ページの「ディスプレイの使い方」を参照してください。

電源ボタン — コンピュータに電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します。39 ページの「省電力モード」を参照してください。

シャッターボタン — 写真を撮るには、シャッターボタンを押します。シャッターボタンは、オプションのカメラのみで使用できます。

スピーカー（2） — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、メディアコントロールボタンを押します。

デバイスステータスライト



コンピュータの電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードになっていると点滅します。

コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。

注意： データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。

バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中。
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了。

コンピュータをバッテリーで作動している場合、 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

キーボードステータスライトおよびワイヤレスステータスライト — キーボードステータスライト

キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

テンキーパッドが有効になると点灯します。

英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。

Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効または無効にするには、ワイヤレススイッチを使用します。ワイヤレススイッチの使い方については、80 ページの「Dell™ Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照してください。



Bluetooth® ワイヤレステクノロジカードが有効になると点灯します。

メモ： Bluetooth ワイヤレステクノロジカードはオプション機能です。コンピュータと一緒にカードをご注文になった場合にのみ ライトが点灯します。詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジ機能だけを無効にするには、通知領域にある アイコンを右クリックし、**Bluetooth ラジオの無効化** を選択します。

ワイヤレスネットワークを有効または無効にするには、ワイヤレススイッチを使用します。ワイヤレススイッチの使い方については、80 ページの「Dell™ Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照してください。

メディアコントロールボタン — CD、DVD、およびメディアプレーヤの再生をコントロールします。



 消音にします。

 音量を下げます。

 音量を上げます。

 再生または一時停止。

 直前のトラックを再生します。

 直後のトラックを再生します。

 停止。

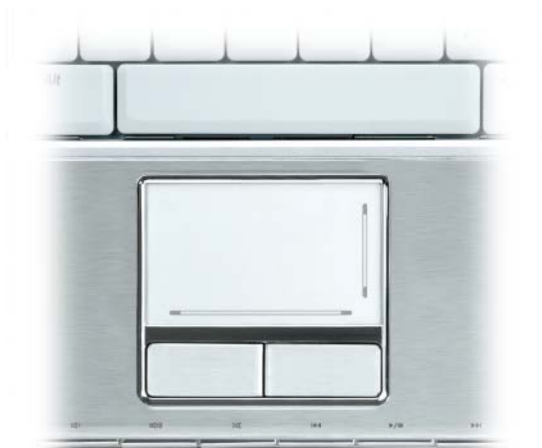
マイク / ライン入力コネクタ — マイクまたはその他の音響入力デバイスを コネクタに取り付けます。5.1 サラウンドサウンドモードでヘッドフォンコネクタおよびマイク / ライン入力コネクタを使用する方法については、53 ページの「テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続」を参照してください。

ヘッドフォンコネクタ（2）— ヘッドフォンまたはスピーカーを コネクタに取り付けます。5.1 サラウンドサウンドモードでヘッドフォンコネクタおよびマイク / ライン入力コネクタを使用する方法については、53 ページの「テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続」を参照してください。



タッチパッドボタン — タッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。

タッチパッド — マウスの機能と同じように使用できます。



キーボード — キーボードには、テンキーパッドや Windows ロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータでサポートされるキーボードショートカットについては、34 ページの「キーの組み合わせ」を参照してください。

DELL MEDIADIRECT™ ボタン — Dell Media Experience または Dell MediaDirect を起動するには、このボタンを押します。

左側面図



1	モデムコネクタ（RJ-11）	4	通気孔	7	ExpressCard スロット
2	USB コネクタ（2）	5	ワイヤレススイッチ	8	ハードドライブ
3	S ビデオ TV 出力コネクタ	6	Wi-Fi Catcher ライト		

モデムコネクタ（RJ-11）



内蔵モデムを使用するには、電話線をモデムコネクタに接続します。

モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。



注意 : ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。

USB コネクタ



マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブをオプションのフロッピードライブケーブルを使って直接 USB コネクタに接続することもできます。

S ビデオ TV 出力コネクタ



コンピュータを TV に接続します。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを使って、デジタルオーディオ対応デバイスにも接続できます。



警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

通気孔 — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

ワイヤレススイッチ — Wi-Fi および Bluetooth テクノロジを使用する内蔵カードなどのワイヤレスデバイスをオン / オフにし、ワイヤレスネットワークを取り込みます。ワイヤレスネットワークの取り込みについては、80 ページの「Dell™ Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照してください。

WI-FI CATCHER™ ライト — ライトは、次のように動作します。

- 緑色の点滅 — ネットワークの検索中。
- 緑色の点灯 — 強いネットワークが見つかりました。
- 黄色の点灯 — 弱いネットワークが見つかりました。
- 橙色の点滅 — 信号は見つかりませんでした。または、エラーが発生しました。
- 消灯 — 信号は見つかりませんでした。

EXPRESSCARD スロット — ExpressCard 1 枚をサポートします。コンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ExpressCard を取り付けると、お使いのコンピュータで WWAN 接続を有効にすることができます。詳細に関しては、69 ページの「カードの使い方」を参照してください。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。詳細に関しては、112 ページの「ハードドライブ」および 87 ページの「ハードドライブの問題」を参照してください。

右側面図



1	オプティカルドライブベイ	3	IEEE 1394 コネクタ	5	ビデオコネクタ
2	5-in-1 メディアメモリカードリーダー	4	USB コネクタ（2）		

オプティカルドライブベイ — DVD ドライブなどのデバイスやその他のオプティカルドライブは、オプティカルドライブベイに取り付けることができます。詳細については、111 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。

5-IN-1 メディアメモリカードリーダー — メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。5-in-1 メディアメモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD カード /SDIO
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード

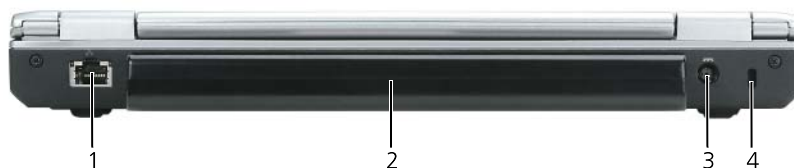
IEEE 1394 コネクタ — デジタルビデオカメラなど、IEEE 1394 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。

ビデオコネクタ



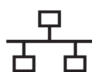
外付け VGA 対応モニターを接続します。

背面図



1	ネットワークコネクタ	3	AC アダプタコネクタ
2	バッテリー	4	セキュリティケーブルスロット

ネットワークコネクタ（RJ-45）



コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの隣にある緑色と黄色のライトは、有線ネットワーク通信のアクティビティを示します。

ネットワークアダプタの使い方に関する詳細に関しては、システムに付属しているオンラインネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。バッテリーについての詳細は、37 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

ネットワークコネクタ



 **警告：AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。**

 **注意：**ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

セキュリティケーブルスロット — 市販の盗難防止用品を取り付けることができます。セキュリティケーブルスロットについては、81 ページの「セキュリティケーブルロック」を参照してください。

底面図



1	ハードドライブ	4	通気孔	7	バッテリー充電ゲージ
2	オプティカルドライブ固定ネジ	5	通信カードカバー	8	バッテリー
3	メモリモジュールカバー	6	バッテリーベイリリースラッチ		

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。詳細に関しては、112 ページの「ハードドライブ」および 87 ページの「ハードドライブの問題」を参照してください。

オプティカルドライブ固定ネジ — オプティカルドライブを所定の位置に固定します。詳細については、111 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。

メモリモジュールカバー — モデムとメモリモジュールの実装部のカバーです。詳細に関しては、114 ページの「メモリ」を参照してください。

⚠ **警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。**

通気孔 — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

通信カードカバー — ワイヤレス LAN カードスロットおよびモバイルブロードバンドカードスロットを保護します。詳細については、73 ページの「ネットワークの使い方」を参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ —バッテリーをバッテリーベイから取り外すのに使用します。41 ページの「バッテリーの交換」を参照してください。

バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電ステータスの情報を示します。38 ページの「バッテリーの充電チェック」を参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。詳細に関しては、37 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

2

コンピュータのセットアップ

インターネットへの接続

メモ： ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある既存の ISP のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。
3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

  新しい接続ウィザード が表示されます。

3 **インターネットに接続する** をクリックします。
4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
  - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ（ISP）の一覧から選択する** をクリックします。
  - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
  - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

 **メモ :** どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6 **インターネットにどのように接続しますか ?** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、88 ページの「E- メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元のコンピュータから新しいコンピュータに転送する、ファイルと設定の転送ウィザードがあります。下記のデータが転送できます。

- E- メールメッセージ
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワーク接続を介してデータを転送したり、新しいコンピュータに転送するためにデータを書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアに保存することができます。

 **メモ :** 2 台のコンピュータで直接ケーブル接続を設定する手順に関しては、マイクロソフト社のウェブサイトにて「直接ケーブル接続を構成する方法」という文書を参照してください。この情報は、特定の国では使用できない場合もあります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。このプロセスを実行するには、オプションの『オペレーティングシステム CD』を使用するか、またはファイルと設定の転送ウィザードユーティリティでウィザードディスクを作成することができます。

オペレーティングシステム CD を使用してファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

 **メモ :** この手順では、『オペレーティングシステム CD』が必要です。この CD はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

新しいコンピュータにファイルを転送する準備をします

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックし、ファイルと設定の転送ウィザードを起動します。

2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で **転送先の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。

4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で **Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックして、**次へ** をクリックします。

5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーします

1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
2 **Microsoft Windows XP へようこそ** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3 **実行する操作の選択** で **ファイルと設定を転送する** をクリックします。
4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で **転送元の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
6 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
7 **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送します

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

   設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステム CD を使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

オプションの『オペレーティングシステム CD』を使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、データファイルのバックアップ作成を誘導するウィザードディスクを作成する必要があります。ウィザードディスクは、新しいコンピュータから古いコンピュータに移動できるように、リムーバブルメディアに作成します。

ウィザードディスクを作成します

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックし、ファイルと設定の転送ウィザードを起動します。
2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で **転送先の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で、**次のドライブでウィザードディスクを作成する :** をクリックして、**次へ** をクリックします。
5 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアを挿入して、**OK** をクリックします。
6 ディスク作成が完了したら、**古いコンピュータに移動してください** というメッセージが表示されますが、**次へ** はクリックしないでください。
7 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーします

1 古いコンピュータで、ウィザードディスクを挿入します。

2 **スタート** ボタンをクリックして、**ファイル名を指定して実行** をクリックします。

3 **ファイル名を指定して実行** ウィンドウの **名前** フィールドで、**fastwiz**（該当するリムーバブルメディア）へのパスを参照して入力し **OK** をクリックします。

4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。

5 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で **転送元の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。

6 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。

7 **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送します

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。

ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。



メモ : この手順に関して、**support.jp.dell.com** にて「転送」をキーワードに Q&A 検索していただくと、さらに詳細な情報がご覧いただけます。（文書番号 190344 の「以前の Windows で使用していた設定やファイルを、Windows XP にコピーする用法」）などがあります。

プリンタのセットアップ



注意 : オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け

テクニカルサポートが必要な場合、プリンタのオーナーズマニュアルを参照するか、プリンタの製造元にお問い合わせください。

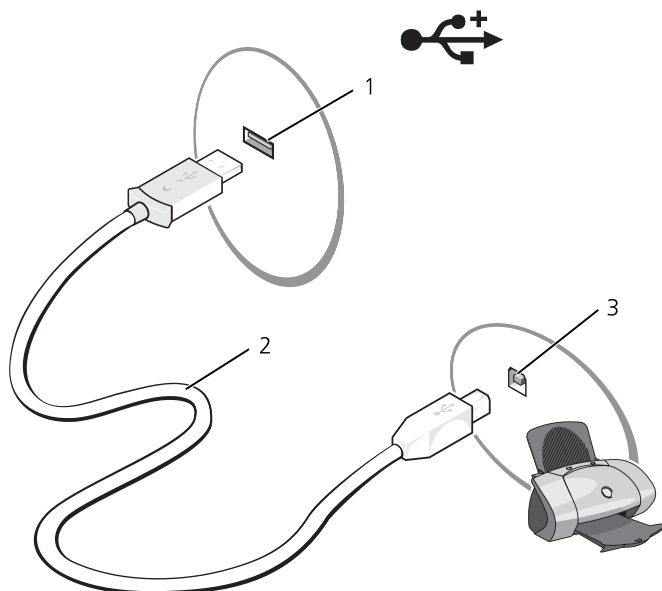
プリンタケーブル

USB ケーブルまたはパラレルケーブルのどちらかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタおよびコンピュータと互換性があることを確認してください。お使いのコンピュータと同時にプリンタケーブルをご購入された場合、ケーブルはコンピュータが梱包されている箱に同梱されていることがあります。

USB プリンタの接続

 **メモ :** USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

1. オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
2. コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



1	コンピュータの USB コネクタ	2	USB プリンタケーブル	3	プリンタのコネクタ

3. プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**ハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
4. 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ
- 無停電電源装置（UPS）

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

注意：ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷雨が予測される場合は、電話ジャックから電話線を外し、コンセントからコンピュータを外してください。

多くのサージプロテクタには、モデム保護用の電話コネクタが装備されています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

注意：すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。お住まいの地域で、雷雨が起きている間や稲妻が起こる可能性があるときは、ネットワークウォールコネクタからネットワークケーブルを外してください。

ラインコンディショナ

注意：ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

無停電電源装置（UPS）

注意：データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

メモ：バッテリーの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

3

ディスプレイの使い方

輝度の調整

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、<Fn> とキーボードの上下矢印キーを押して、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

 **メモ :** 輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターまたはプロジェクタには影響はありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとすると、輝度メーターは表示されますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されません。

以下のキー（キーの組み合わせ）を押すと、ディスプレイの輝度を調節できます。

- <Fn> と上矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

ビデオイメージの切り替え

外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して画面モードの表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。

ディスプレイのオプションについては、**スタート** → **コントロールパネル** → **画面** → **設定** をクリックしてください。

画面解像度の設定

特定の解像度でプログラムを表示するには、グラフィックスカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

デフォルトの画面設定を変更する前に、後で参照できるようその設定を控えておいてください。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされる設定に最も近いものに自動的に調整されます。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、変更したい項目をクリックします。**またはコントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。
4. **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

 **メモ :** 解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

4

キーボードとタッチパッドの使い方

テンキーパッド



テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、<Fn> とご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	**タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。

ディスプレイ関連

<Fn><F8>	現在使用可能なすべてのディスプレイオプション（例えば、ディスプレイのみ、外付けモニターまたはプロジェクタのみ、ディスプレイとプロジェクタの両方など）を示すアイコンを表示します。目的のアイコンをハイライト表示して、画面をそのオプションに切り替えます。
<Fn> と上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
<Fn> と下矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

電力の管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。39 ページの「省電力モード」を参照してください。

Microsoft® Windows® ロゴキー関連

Windows ロゴキーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このコマンドは、Windows ロゴキーと <m> キーの組み合わせで最小化されたすべてのウィンドウを元に戻す（最大化する）ための切り替えとして作動します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラを開きます。
Windows ロゴキーと <r>	**ファイルを指定して実行** ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**検索結果** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**検索結果ーコンピュータ** ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。

QuickSet のキーの組み合わせ

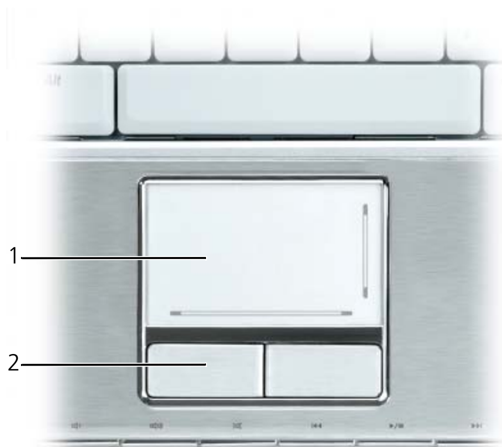
QuickSet がインストールされている場合、上記の他にバッテリメーターや省電力モードを有効にする機能のためのショートカットキーを使用できます。QuickSet のキーの組み合わせの詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックし、**ヘルプ** をクリックしてください。

キーボード設定の調整

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルについては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1　タッチパッド	2　タッチパッドボタン（2）

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。
- オブジェクトを選択するには、オブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドには、右側と底部にスクロールの可能範囲を示すシルクスクリーン印刷があります。スクロールはデフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、コントロールパネルでマウスのプロパティを変更します。

 **メモ：**スクロールゾーンは、すべてのアプリケーションプログラムで機能するとは限りません。スクロールゾーンが正しく機能するには、アプリケーションプログラムでタッチパッドのスクロール機能を使用できることが必要です。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり設定を調整したりすることができます。

1 コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**マウス** をクリックします。コントロールパネルについては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

2 **マウスのプロパティ** ウィンドウの **タッチパッド** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調整します。

3 **OK** をクリックし、設定を保存してウィンドウを閉じます。

5

バッテリーの使い方

バッテリーの性能

メモ：デルの保証情報に関しては、『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』を参照してください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータは、常にバッテリーを搭載した状態でお使いください。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

メモ：バッテリーはフル充電されていない場合がありますので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。最良の結果を得るには、バッテリーがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリーの充電ステータスを表示するには、コントロールパネルにアクセスして **電源オプション** をクリックし、**電源メーター** タブをクリックします。

メモ：バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。

- オプティカルドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合（41 ページの「電源管理の設定」を参照）

メモ：CD または DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

コンピュータにバッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電チェックができます（38 ページの「バッテリーの充電チェック」を参照）。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電源管理のオプションを設定することもできます。QuickSet または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスする方法に関しては、41 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告：バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。



警告：バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft® Windows® **電源メーター** ウィンドウと アイコン、バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

Dell™ QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を押して QuickSet バッテリメーターを表示します。バッテリメーターには、お使いのコンピュータのバッテリーの状況、充電レベル、および充電完了時間が表示されます。QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして **ヘルプ** をクリックします。

Microsoft® Windows® 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。電源メーターの詳細情報にアクセスする手順に関しては、41 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合は、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを一度押すかまたは押し続けると、次のことが確認できます。

- バッテリーの充電量（ステータスボタンを短く押して確認します）
- バッテリー性能（ステータスボタンを押し続けて確認します）

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーの充電機能またはバッテリー性能は次第に低下します。つまり、バッテリーに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量（性能）は低下したままの場合があります。

バッテリーの充電チェック

バッテリーの充電量をチェックするには、充電ゲージにあるステータスボタンを短く押すと、充電レベルライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

バッテリー性能のチェック



メモ：バッテリー性能は、以下に記載するバッテリーの充電ゲージを使用するか、Dell QuickSet のバッテリメーターを使用してチェックすることができます。QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして **ヘルプ** をクリックします。

充電ゲージを使用してバッテリー性能をチェックするには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60% 以下になっていますので、バッテリーを交換することをお勧めします。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、137 ページの「仕様」を参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告



注意 : データの損失や破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存して、コンピュータをコンセントに接続してください。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

デフォルトでは、ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの全充電量の約 90 % を消費した時点で発せられます。バッテリーアラームの設定は変更することができます。QuickSet または電源オプションのプロパティウィンドウにアクセスする方法に関しては、41 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

バッテリー電力の節約

バッテリー電源を節約するには次の手順を実行してください。

- バッテリーの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください。スタンバイモードと休止状態モードの詳細に関しては、39 ページの「省電力モード」を参照してください。
- 電力の管理ウィザード を使用してコンピュータの電力消費をカスタマイズするオプションを選択してください。電源ボタンを押してディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押すと、これらのオプションの設定を変更することができます。電力の管理ウィザードを使用する詳細に関しては、41 ページの「電源管理の設定」を参照してください。



メモ : バッテリー電力を節約する方法に関する詳細は、37 ページの「バッテリーの性能」を参照してください。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイモードは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおくと（タイムアウト）、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。



注意 : スタンバイモード中に AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには、以下の手順を実行します。

- **スタート** → **シャットダウン** → **スタンバイ** とクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細** タブ（41 ページの「電源管理の設定」を参照）で設定した電力管理オプションに応じて、次の方法のいずれかを実行します。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

スタンバイモードから復帰するには、**詳細設定** タブでご自分で設定したオプションに応じて電源ボタンを押すか、またはディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。



注意 : お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードを起動するには、以下の手順を実行します。

- **スタート** → **シャットダウン** をクリックし、<Shift> を押したまま **休止状態** をクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブで、ご自分で設定した電力の管理オプションに従い、次の方法の 1 つを実行し、休止状態モードを起動します。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。



メモ : ExpressCard によっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して取り付けなおすか（70 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照）、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源管理の設定

QuickSet 電力の管理ウィザードまたは Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いのコンピュータの電力管理の設定を行うことができます。

- QuickSet 電力の管理ウィザードにアクセスするには、タスクバーにある アイコンをダブルクリックします。QuickSet の詳細に関しては、電力の管理ウィザードの **ヘルプ** ボタンをクリックしてください。
- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスするには、**スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **電源オプション** とクリックします。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウ内のフィールドの詳細に関しては、タイトルバーにある疑問符（?）アイコンをクリックしてから、必要な情報に対応する領域をクリックします。

バッテリーの充電



メモ : Dell™ ExpressCharge™ 使用して、完全に切れてしまった 6 セルのバッテリーを充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で約 1 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合や、容量の大きな 9 セルのバッテリーの場合は、充電時間は長くなります。バッテリーを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路によって過剰充電が防止されます。

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、97 ページの「電源の問題」を参照してください。

バッテリーの交換

メインバッテリーの交換方法の手順については、109 ページの「コンピュータ内部の作業を始める前に」を参照してください。

バッテリーの保管

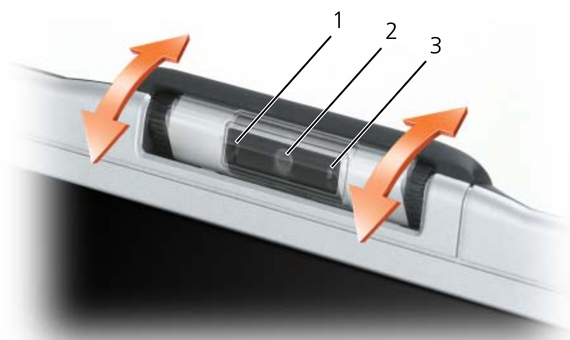
長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電してからお使いください（41 ページの「バッテリーの充電」を参照）。

6

オプションのカメラの使い方

コンピュータ購入時にカメラを注文した場合は、コンピュータのディスプレイにカメラが内蔵されています。カメラと内蔵の指向性マイクを使用すると、写真やビデオの撮影、および他のコンピュータユーザーとの視覚的な言語コミュニケーションが可能になります。カメラの回転動作は、手動で調整できます。カメラの電源がオンの場合は、青色のカメラライトが点灯します。カメラの機能については、137 ページの「仕様」を参照してください。

メモ：コンピュータが作動していてカメラを使用している場合は、カメラが暖かくなります。



1	指向性マイク
2	カメラ
3	青色のカメラライト

カメラのヘルプファイルへのアクセス

カメラの『Video Software Help（ビデオソフトウェアヘルプ）』ファイルにアクセスするには、通知領域の アイコンを右クリックし、**Help**（ヘルプ）をクリックします。



カメラの設定の手動調整

カメラの自動設定を使用しない場合は、手動でカメラ設定を調整できます。

1 通知領域の アイコン を右クリックし、**Camera Settings**（カメラの設定）をクリックします。

2 **Camera Settings**（カメラの設定）ウィンドウで次の操作を実行します。

- **Video**（ビデオ）タブをクリックし、コントラストや輝度などのビデオ設定を調整します。
- **Audio**（オーディオ設定）タブをクリックし、音量レベルなどオーディオ設定を調整します。

カメラ設定およびカメラに関する詳細については、カメラの『Video Software Help（ビデオソフトウェアヘルプ）』ファイル（43 ページの「カメラのヘルプファイルへのアクセス」参照）を参照してください。

写真またはビデオの撮影

1 通知領域の アイコンをクリックし、**QuickCapture** をクリックします。

または

QuickCapture アプリケーションを起動するには、シャッターボタンを押します。



1 シャッターボタン

QuickCapture ウィンドウが表示され、青色のカメラライトが点灯します。これで、撮影する対象物または人にカメラを向けることができます。画面の **QuickCapture** ウィンドウに、カメラの撮影対象物または人が表示されます。

2 写真を撮るには、**Take a Picture**（写真の撮影）をクリックするか、またはシャッターボタンを押します。

ビデオ撮影をするには、**Record a Video**（ビデオの撮影）をクリックします。

別の保存場所を指定しない限り、写真またはビデオは、ハードドライブの **My Pictures** フォルダに自動的に保存されます。

写真またはビデオ撮影については、カメラの『Video Software Setup Guide（ビデオソフトウェアセットアップガイド）』ファイル（43 ページの「カメラのヘルプファイルへのアクセス」参照）を参照してください。

7

マルチメディアの使い方

CD または DVD の再生

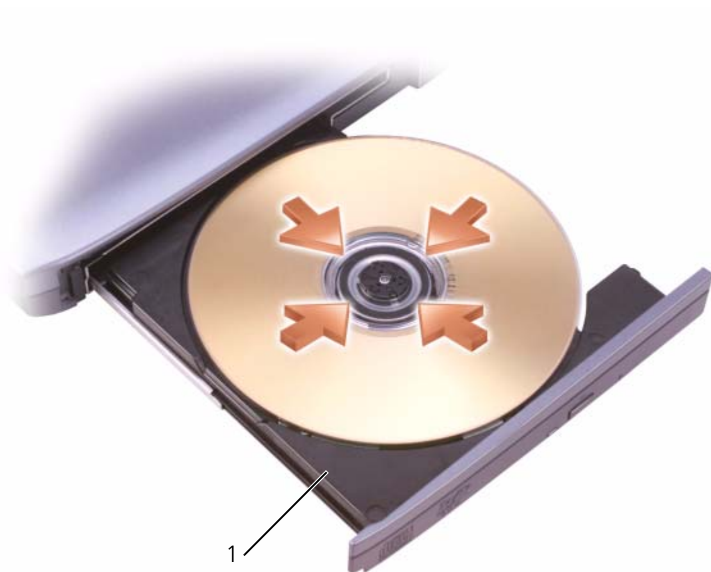
注意 : CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

注意 : CD または DVD を再生しているときに、コンピュータを動かさないでください。

メモ : お使いのディスプレイのアスペクト比によって、映画の表示方法は異なります。

1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。

2 トレイを引き出します。



1 CD/DVD トレイ

3 トレイの中央にラベルのある方を上にしてディスクを置き、ディスクをスピンドルにきちんとはめ込みます。

メモ：別のコンピュータに付属している CD/DVD ドライブを使用する場合は、CD や DVD の再生やデータの書き込みを行うために必要なドライバやソフトウェアのインストールが必要なこともあります。詳細については、『Drivers and Utilities CD』を参照してください（『Drivers and Utilities CD』はオプションであり、お使いのコンピュータや国によって利用できない場合があります）。

4 トレイをドライブに押し戻します。

データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

メモ：CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

ボリュームの調整

メモ：オーディオ出力がミュートに設定されている場合は、スピーカーやヘッドフォンから音声は聞こえません。

1 タスクバーの スピーカー アイコンをクリックします。

または

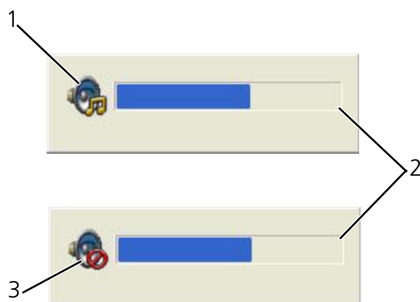
スタート → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **エンターテイメント** → **ボリュームコントロール** をクリックします。

2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細に関しては、**ボリュームコントロール** ウィンドウの ヘルプ **をク**リックしてください。

音量メーターにミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある アイコンをクリックして **Disable On Screen Volume Meter**（画面の音量メーターを無効にする）を選択するまたは選択解除するか、メディアコントロールボリュームボタン を押して、画面の音量メーターの有効または無効を切り替えます。

ボリュームメーターが有効の場合、音量を調節するにはメディアコントロールのボリュームアップボタンおよびボリュームダウンボタンを使用します。



1	ボリュームアイコン	2	音量メーター	3	ミュートアイコン

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックし、ドラッグして画面解像度を下げます。
5 **画面の色** にあるドロップダウンメニューをクリックして、**中（16 ビット）**をクリックします。
6 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

CD および DVD をコピーするには

メモ：CD または DVD を作成する際は、すべての著作権法に基付いていることを確認してください。

本項は、CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD（コンボ）ドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

メモ：デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、Roxio Creator Plus - Dell Edition を使って、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、他の目的にも Roxio Creator Plus を使用することができます。ヘルプを参照するには、Roxio Creator Plus を開き、ウィンドウの右上にある疑問符（?）のアイコンをクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

メモ：CD-RW/DVD コンボドライブでは DVD メディアへの書き込みはできません。CD-RW/DVD コンボドライブがあり、コピー中に問題が生じた場合は、Roxio サポートウェブサイト **www.roxio.co.jp/support/** で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell コンピュータに取り付けられている DVD 書込み可能ドライブは、DVD+/-R、DVD+/-RW および DVD+R DL（デュアルレイヤ）メディアに対して書込みと読取りを行いますが、DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対する書込みは行わず、読取りも行わない可能性があります。

メモ：市販の DVD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Roxio Creator Plus を使用してコピーすることはできません。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **Roxio** → **Creator プロジェクト** → **RecordNow コピー** とクリックします。
2 **コピー** タブで、**Disc Copy**（ディスクコピー）をクリックします。

3 CD または DVD をコピーするには次の手順を実行します。

- CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**Disc Copy**（ディスクコピー）ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。

  プロンプトが表示されたら、CD または DVD ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。

- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**Disc Copy**（ディスクコピー）をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

DVD 書き込み可能ドライブは、CD 記録メディアと DVD 記録メディアの両方に書き込むことができますが、CD-RW ドライブは CD 記録メディアのみ（高速 CD-RW メディアを含む）に書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の最大記憶容量に達した後は、CD-R に再度書き込みはできません（詳細に関しては Sonic のマニュアルを参照）。後で CD にある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量のデータを永久保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがある場合があります。 後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	場合による	いいえ	いいえ
DVD-RAM	場合による	いいえ	いいえ

便利なヒント

- Roxio Creator Plus を開始し、Creator プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ＆ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW は多くの家庭用ステレオおよびカーステレオで再生できない場合があります。
- Roxio Creator Plus を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレイヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 ～ 2 MB を必要とします。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- 詳細に関しては、Roxio ウェブサイト **www.roxio.jp/** を参照してください。

Media Experience および Dell MediaDirect™

コンピュータの発注時に行った構成の設定および選択に基づいて、以下の機能がサポートされます。

- Dell Media Experience — 音楽、ビデオなどデジタルメディアへのアクセスおよび再生用のマルチメディアユーザーインタフェースです。
- Dell MediaDirect — デジタルメディア用の瞬時マルチメディア再生モードです。



メモ : Dell MediaDirect の機能を使用するには Dell QuickSet が必要です。QuickSet のデフォルトの設定を変更したり無効にしたりすると、Dell MediaDirect の機能が制限されます。Dell QuickSet については、131 ページの「Dell™ QuickSet」を参照してください。

ヒンジカバーにある Dell MediaDirect ボタンを押して、Dell Media Experience または Dell MediaDirect のいずれかを始動します。

コンピュータがオンの状態またはスタンバイモードの場合

コンピュータがオンの状態またはスタンバイモードの場合に Dell MediaDirect ボタンを押すと、お使いのシステムの設定によって、Windows XP Media Center Manager または Dell Media Experience が始動します。 両方のアプリケーションがインストールされている場合は、Windows XP Media Center Manager が始動します。



メモ : Windows XP Media Center および Dell Media Experience の両方がインストールされている場合は、**スタート → プログラム** をクリックするか、デスクトップの Media Experience アイコンをクリックして Dell Media Experience を起動する必要があります。

コンピュータがオフの状態または休止状態モードの場合

コンピュータがオフの状態または休止状態モードの場合は、Dell MediaDirect ボタンを押してコンピュータを起動し、自動的に Dell MediaDirect アプリケーションプログラムを始動させます。

注意 : ハードドライブを自発的に再フォーマットした場合、Dell Media Experience または Dell MediaDirect の機能を再インストールすることはできません。これらのメディアアプリケーションプログラムを再インストールするには、インストール用のソフトウェアが必要です。この場合には、デルにご相談ください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。



1 Dell MediaDirect ボタン

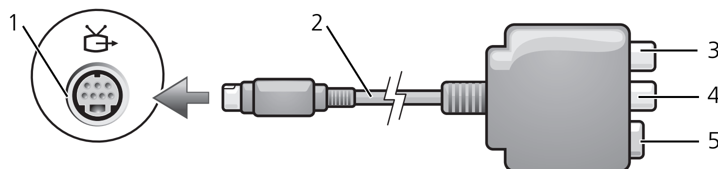
Dell MediaDirect および Dell Media Experience のヘルプ

お使いのコンピュータの Dell メディアアプリケーションプログラムではヘルプ情報を提供しています。いずれかのプログラムを始動しているときに、デスクトップアイコンをクリックして追加ヘルプを得ることができます。

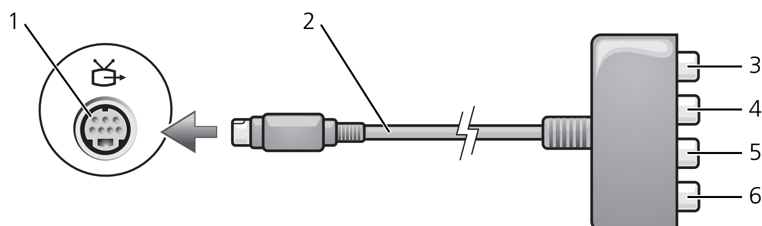
テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

メモ： テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータには付属していません。ケーブルとコンポーネントビデオアダプタは、デルからご購入いただけます。

お使いのコンピュータには、標準 S ビデオケーブル（同梱されていません）と共に使用して、コンピュータをテレビに接続できる S ビデオ TV 出力コネクタがあります。



1	S ビデオ TV 出力コネクタ	3	S/PDIF デジタルオーディオコネクタ	5	S ビデオコネクタ
2	コンポジットビデオアダプタ	4	コンポジットビデオ出力コネクタ		



1	S ビデオ TV 出力コネクタ	3	S/PDIF デジタルオーディオコネクタ	5	Pb（青色）コンポーネントビデオ出力コネクタ
2	コンポーネントビデオアダプタ	4	Pr（赤色）コンポーネントビデオ出力コネクタ	6	Y（緑色）コンポーネントビデオ出力コネクタ

お使いのテレビには、S ビデオ入力コネクタ、コンポジットビデオ入力コネクタ、またはコンポーネントビデオ入力コネクタのいずれかがあります。テレビで使用可能なコネクタのタイプによって、市販の S ビデオケーブル、コンポジットビデオケーブル、またはコンポーネントビデオケーブルを使用して、コンピュータをテレビに接続できます。

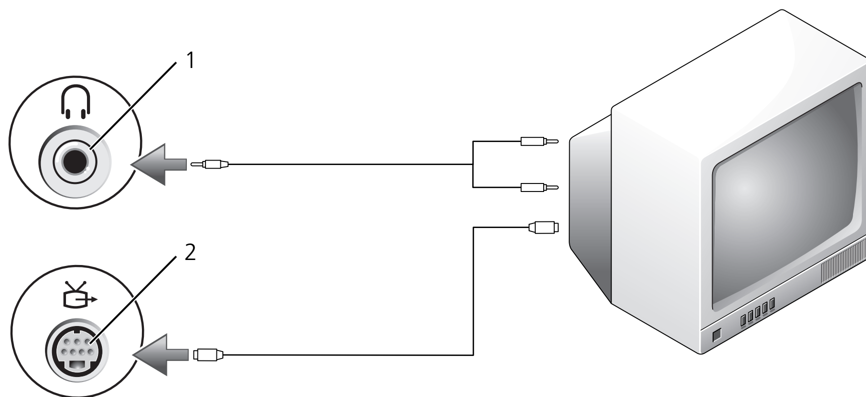
以下の組み合わせの 1 つを使って、ビデオケーブルおよびオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

メモ： コンピュータをテレビまたはオーディオデバイスに接続する場合は、ビデオとオーディオのケーブルを次のいずれかの組み合わせでコンピュータに接続することをお勧めします。

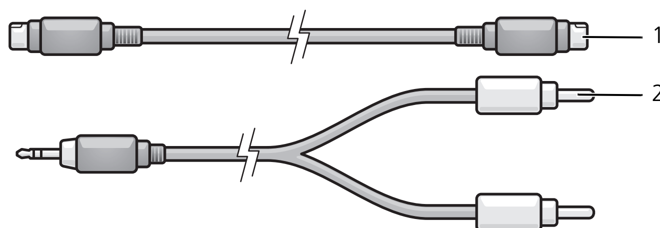
- S ビデオおよび標準オーディオ
- コンポジットビデオおよび標準オーディオ
- コンポーネント出力ビデオおよび標準オーディオ

コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータとテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。また、S/PDIF デジタルオーディオをお使いの場合は、64 ページの「S/PDIF デジタルオーディオの有効化」を参照してください。

S ビデオおよび標準オーディオ



1	オーディオコネクタ	2	S ビデオ TV 出力コネクタ



1	標準 S ビデオケーブル	2	標準オーディオケーブル

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。



メモ : コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。

2 S ビデオケーブルの一方の端を、コンピュータの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。

3 S ビデオケーブルのもう一方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

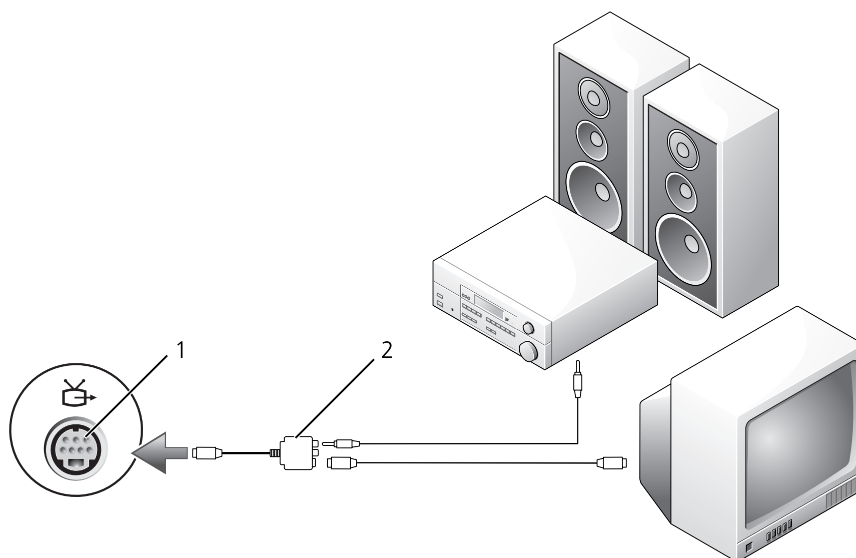
4 コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。

5 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

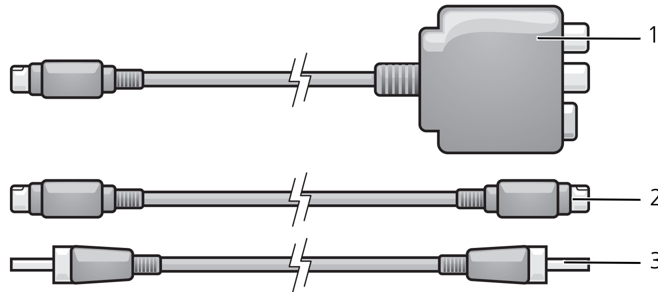
6 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

7 65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S ビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

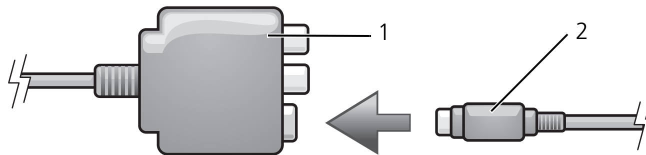


1	S ビデオ TV 出力コネクタ	2	コンポジットビデオアダプタ



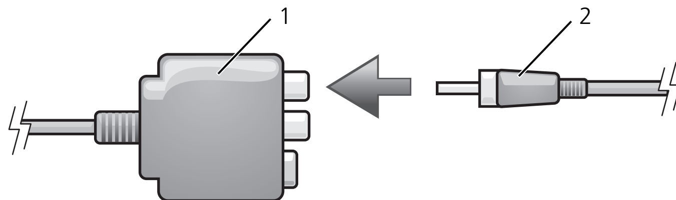
1　コンポジットビデオアダプタ　2　S ビデオケーブル　3　S/PDIF デジタルオーディオケーブル

1　接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2　コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3　S ビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。



1　コンポジットビデオアダプタ　2　S ビデオケーブル

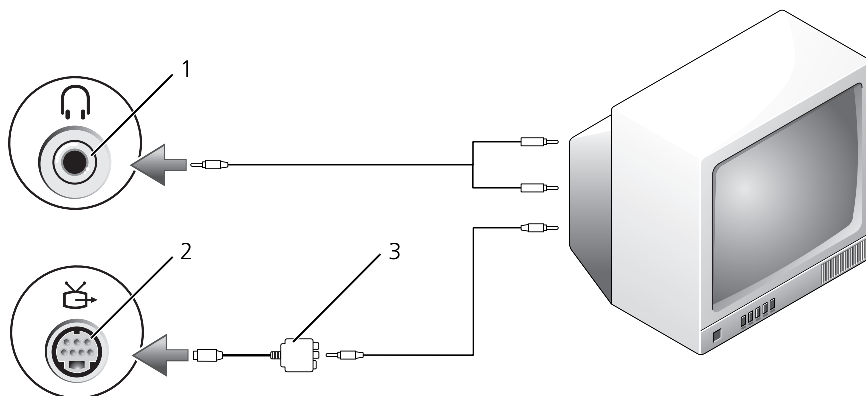
4　S ビデオケーブルのもう一方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
5　S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタに差し込みます。



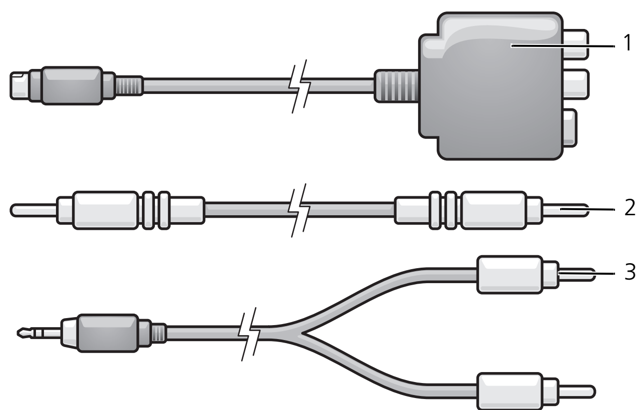
1　コンポジットビデオアダプタ　2　S/PDIF デジタルオーディオケーブル

6　S/PDIF デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7　テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8　65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポジットビデオおよび標準オーディオ



1 オーディオ入力コネクタ　2 S ビデオ TV 出力コネクタ　3 コンポジットビデオアダプタ

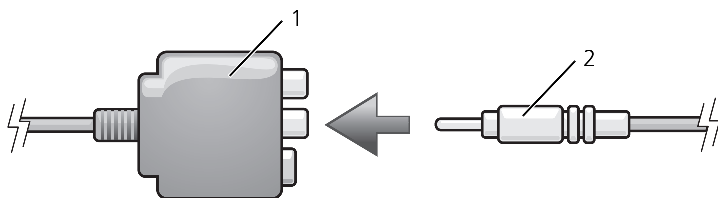


1 コンポジットビデオアダプタ　2 コンポジットビデオケーブル　3 標準オーディオケーブル

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2 コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

3 コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ出力コネクタに差し込みます。



1 コンポジットビデオアダプタ　2 コンポジットビデオケーブル

4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

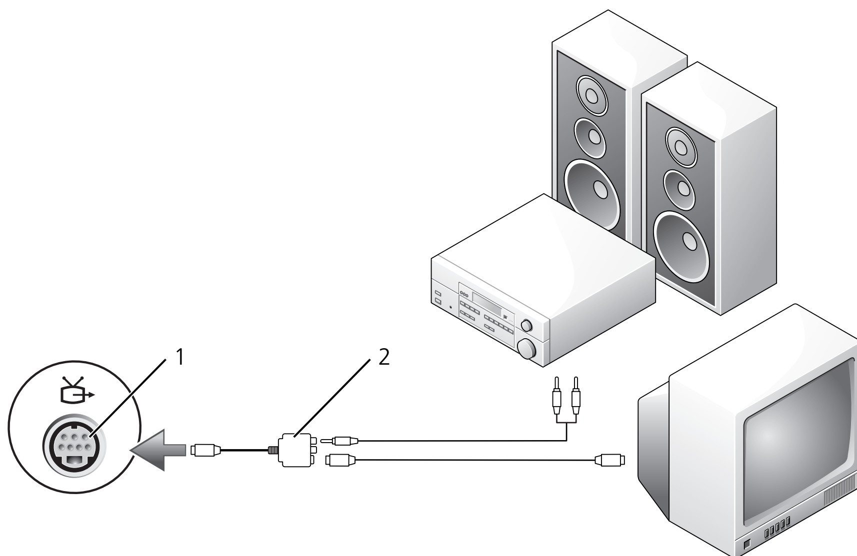
5 コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端を差し込みます。

6 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

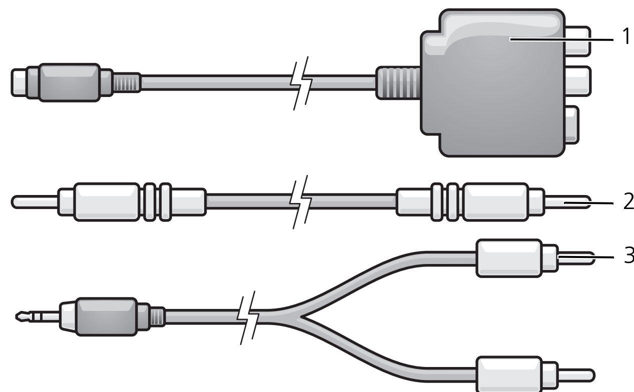
7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポジットビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

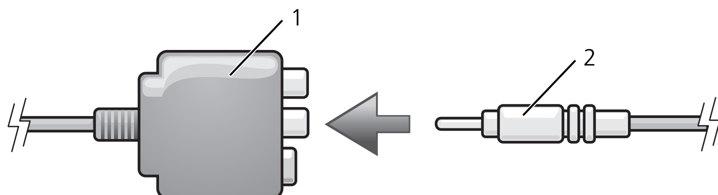


1 S ビデオ TV 出力コネクタ　2 コンポジットビデオアダプタ



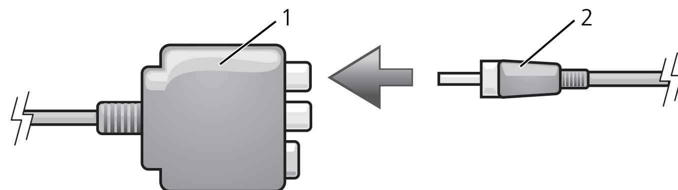
1　コンポジットビデオアダプタ　2　コンポジットビデオケーブル　3　標準オーディオケーブル

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2 コンポジットビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3 コンポジットビデオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。



1　コンポジットビデオアダプタ　2　コンポジットビデオケーブル

4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポジットビデオアダプタの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。



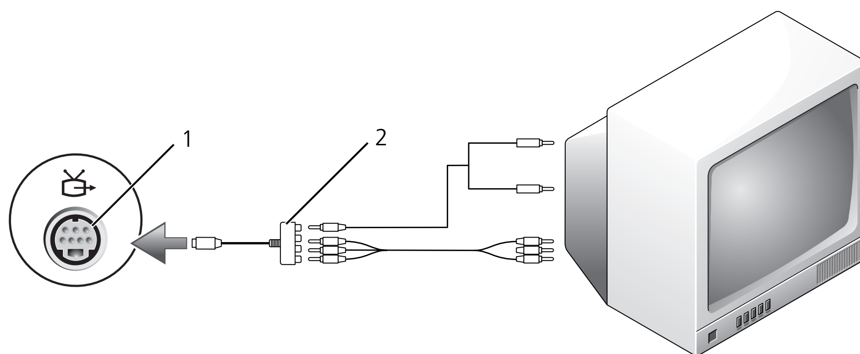
1　コンポジットビデオアダプタ　2　S/PDIF デジタルオーディオケーブル

6 デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF 入力コネクタに差し込みます。

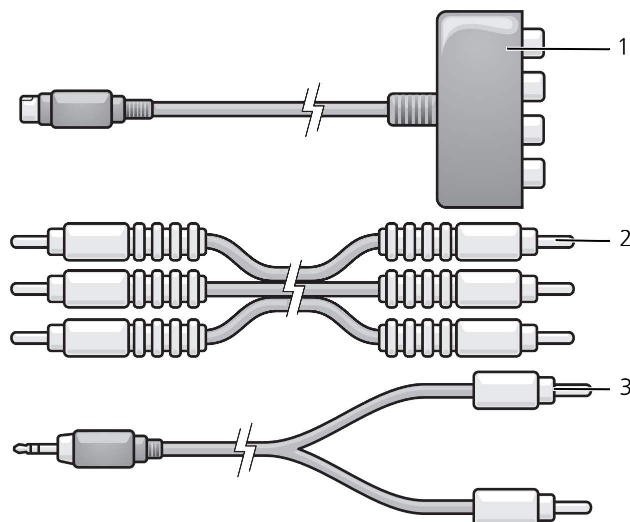
7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポーネントビデオおよび標準オーディオ

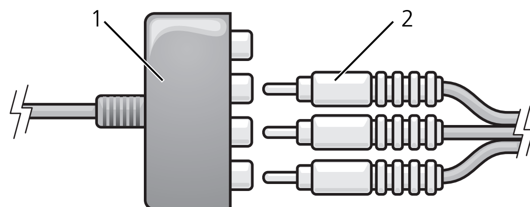


1	S ビデオ TV 出力コネクタ	2	コンポーネントビデオアダプタ



1	コンポーネントビデオアダプタ	2	コンポーネントビデオケーブル	3	標準オーディオケーブル

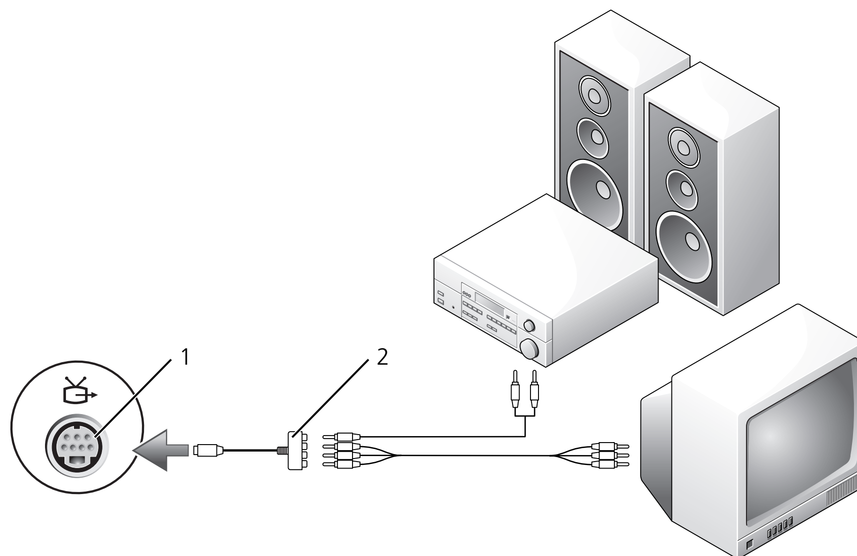
1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2 コンポーネントビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3 コンポーネントビデオケーブルの 3 つの末端すべてを、コンポーネントビデオアダプタのコンポーネントビデオ出力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）が対応するアダプタポートと一致していることを確認してください。



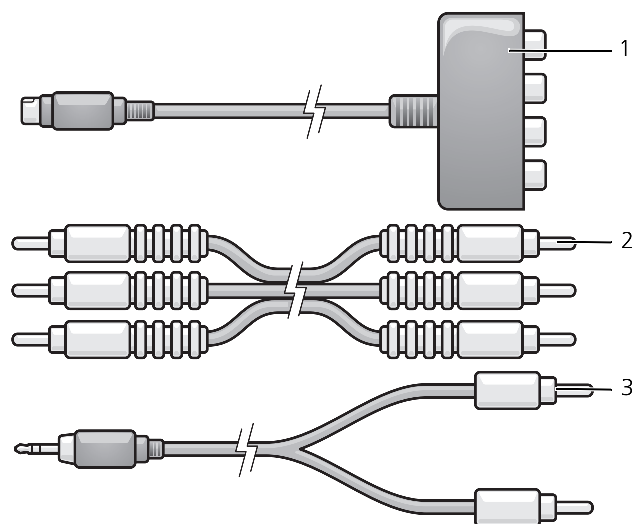
1	コンポーネントビデオアダプタ	2	コンポーネントビデオケーブル

4 コンポーネントビデオケーブルのもう一方の端にある 3 つのコネクタすべてを、テレビのコンポーネントビデオ入力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）がテレビの入力コネクタの色と一致していることを確認してください。
5 コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが 1 つ付いているオーディオケーブルの端を差し込みます。
6 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたはオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8 65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポーネントビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ



1	S ビデオ TV 出力コネクタ	2	コンポーネントビデオアダプタ

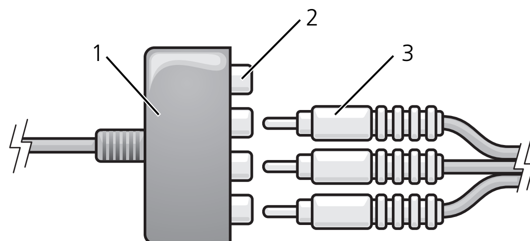


1	コンポーネントビデオアダプタ	2	コンポーネントビデオケーブル	3	標準オーディオケーブル

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

2 コンポーネントビデオアダプタを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

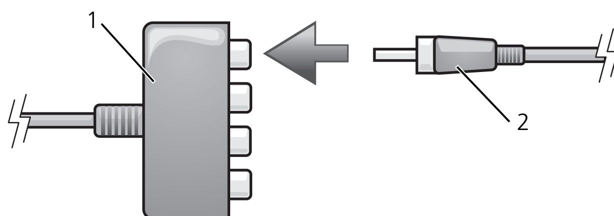
3 コンポーネントビデオケーブルの 3 つの末端すべてを、コンポーネントビデオアダプタのコンポーネントビデオ出力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）が対応するアダプタポートと一致していることを確認してください。



1	コンポーネントビデオアダプタ	2	コンポーネントビデオ出力コネクタ	3	コンポーネントビデオケーブル

4 コンポーネントビデオケーブルのもう一方の端にある 3 つのコネクタすべてを、テレビのコンポーネントビデオ入力コネクタに差し込みます。ケーブルの色（赤色、緑色、青色）がテレビの入力コネクタの色と一致していることを確認してください。

5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの一方の端を、コンポーネントビデオアダプタの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。



1	コンポーネントビデオアダプタ	2	S/PDIF デジタルオーディオケーブル

6 デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF 入力コネクタに差し込みます。

7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 65 ページの「Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S/PDIF デジタルオーディオの有効化

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用にデジタルオーディオを有効にすることができます。

1 **スタート** をクリックし、**すべてのプログラム** をポイントし、**PowerDVD** をクリックして **Cyberlink PowerDVD** アプリケーションを起動します。
2 DVD を DVD ドライブに挿入します。

   DVD の再生が始まったら、停止ボタンをクリックします。
3 **設定** オプションをクリックします。
4 **ムービー** オプションをクリックします。
5 **音声設定** アイコンをクリックします。
6 **スピーカ設定** の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**S/PDIF** オプションを選択します。
7 **戻る** ボタンを一度クリックし、もう一度 **戻る** ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

Windows オーディオドライバでの S/PDIF の有効化

1 Windows の通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。
2 **オプション** メニューをクリックしてから、**トーン調整** をクリックします。
3 **トーン** をクリックします。
4 **S/PDIF インタフェース** をクリックします。
5 **閉じる** をクリックします。
6 **OK** をクリックします。

Cyberlink（CL）ヘッドフォンの設定

 **メモ：**CL ヘッドフォン機能は、お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合にのみ有効です。

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用にデジタルオーディオを有効にすることができます。

1 **スタート** をクリックし、すべてのプログラム をポイントし、**PowerDVD** をクリックして、**Cyberlink PowerDVD** プログラムを始動します。
2 DVD を DVD ドライブに挿入します。

   DVD の再生が始まったら、停止ボタンをクリックします。
3 **設定** オプションをクリックします。
4 **ムービー** オプションをクリックします。
5 **音声設定** アイコンをクリックします。
6 **スピーカ設定** の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**Headphones**（ヘッドフォン）オプションを選択します。
7 **サラウンド** の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**CL Headphones**（CL ヘッドフォン）オプションを選択します。
8 **サウンド環境設定** オプションの横にある矢印をクリックし、最適なオプションを選択します。
9 **戻る** ボタンを一度クリックし、もう一度 **戻る** ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

Microsoft® Windows® XP でのテレビの表示設定の有効化

ビデオコントローラ


メモ：ディスプレイオプションが正しく表示されるようにするには、ディスプレイ設定を有効にする前に TV をコンピュータに接続してください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **画面** をクリックして **設定** タブをクリックします。
3 **トーン** をクリックします。
4 お使いのビデオカードのタブをクリックします。


メモ：コンピュータに取り付けられたビデオカードのタイプを確認するには、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート** → **ヘルプとサポート** とクリックします。**作業を選びます** で **ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する** をクリックします。次に、**マイコンピュータの情報** で **ハードウェア** を選択します。

5 表示デバイスの項で、シングルディスプレイまたはマルチディスプレイのいずれを使用するか、該当するオプションを選択し、画面設定が選択内容に対して正しいことを確認します。

サウンドモード

お使いのコンピュータでは、2 種類のサウンドモード（ステレオおよび 5.1 サラウンドモード）を使用できます。

ステレオサウンドモード

お使いのコンピュータは、出荷時にステレオサウンドモードがデフォルトに設定されています。このモードでは、コンピュータの前面に 2 種類のヘッドフォンコネクタとマイク / ライン出力コネクタが装備されています。2 個のヘッドフォン、あるいは他のサウンド出力デバイスとマイクまたは他のサウンド入力デバイスを同時に使用できます。

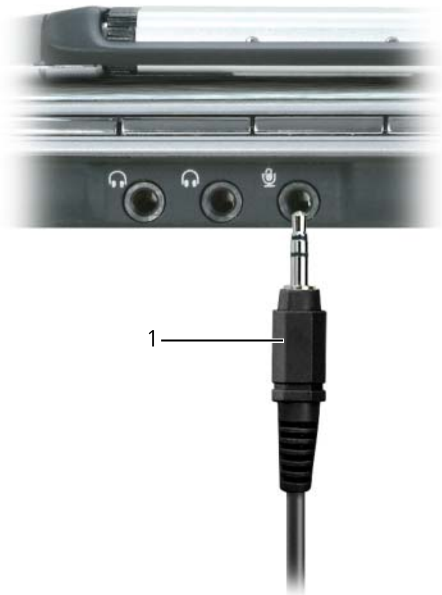
5.1 サラウンドモード

5.1 サラウンドサウンドモードに切り替えるには、スピーカーの 3 色のケーブルコネクタ（緑色、黄色、黒色）をコンピュータ前面のヘッドフォンコネクタとマイクコネクタに接続する必要があります。


メモ：スピーカーの黒色のケーブルコネクタを最初に接続しなければ、5.1 サラウンドサウンドモードは機能しません。

1 スピーカーの黒いケーブルコネクタをコンピュータ前面のマイク / ライン入力コネクタに接続します。

   各ジャックに差し込まれているコネクタのステータスを示すポップアップメニューが表示されます。



1　黒いケーブルコネクタ

2 スピーカーの緑色のケーブルコネクタを左側のヘッドフォンコネクタに接続します。

3 スピーカーの黄色のケーブルコネクタを右側のヘッドフォンコネクタに接続します。



1	緑色のケーブルコネクタ	2	黄色のケーブルコネクタ

8

カードの使い方

ExpressCard

ExpressCard は、PC カードテクノロジを使用して、お使いのコンピュータにメモリ、有線およびワイヤレスネットワーク通信（WWAN（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）通信を含む）、マルチメディア、およびセキュリティ機能を追加するための素早く手軽な方法を提供します。

サポートされる ExpressCard については 137 ページの「仕様」を参照してください。


メモ : ExpressCard は起動可能なデバイスではありません。

ExpressCard のダミーカード

お使いのコンピュータには、ExpressCard スロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに ExpressCard を取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードを取り外すには、70 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照してください。

ExpressCard の取り付け

コンピュータの実行中に ExpressCard をコンピュータに取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、ExpressCard は、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれているか、ラベルが付いています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。


警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ExpressCard を取り付けるには次の手順を実行します。

1 カードの表を上にして持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。

2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。



カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

コンピュータはほとんどの ExpressCard を認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、ExpressCard 付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

ExpressCard またはダミーカードの取り外し

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : コンピュータからカードを取り外す前に、ExpressCard 設定ユーティリティを使用して（タスクバーの アイコンをクリックしてください）カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

ラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

スロットに ExpressCard を取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。





メディアメモリカード

5-in-1 メディアメモリカードリーダーを使用すると、メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。

 **メモ :** メディアメモリカードは起動可能なデバイスではありません。

5-in-1 メディアメモリカードリーダーは、以下のメディアメモリカードを読み取ります。

- SD カード /SDIO
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード

メディアメモリカードの取り付け

メディアメモリカードは、コンピュータの実行中に取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

メディアメモリカードは通常、カード上面にスロットへの挿入方向を示す記号（三角形や矢印など）またはラベルが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

 **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メディアメモリカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

1 カードの表を上にして持ちます。

2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



コンピュータは、メディアメモリカードを認識し、適切なデバイスドライバを自動的にロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、該当する場合は、メディアメモリカードに付属の CD を使用します。

メディアメモリカードの取り外し

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : コンピュータからカードを取り外す前に、メディアメモリカード設定ユーティリティを使用して（タスクバーの アイコンをクリックします）カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

カードを押し込み、カードリーダーからカードの一部が出てきたら、カードを取り出します。

9

ネットワークの使い方

ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには次の手順を実行します。

1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ：ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。

2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。

メモ：ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** → **ネットワークセットアップウィザード** → **次へ** → **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックしてください。



メモ：インターネットに直接接続している と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2（SP2）で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

2 チェックリストを完了します。

3 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)

ワイヤレス LAN は、各コンピュータに接続するネットワークケーブルを使用するのではなく、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータです。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレス LAN 接続の設定に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものが必要です。

- 高速（ブロードバンド）インターネットアクセス（ケーブルまたは DSL など）
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレスネットワークカード（ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータに必要）
- ネットワーク（RJ-45）コネクタのあるネットワークケーブル

お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べるには、次のいずれかを使用します。

- **スタート** ボタンと **接続** オプション
- お使いのコンピュータの注文確認書

スタートボタンと接続オプション

1 **スタート** → **接続** → **すべての接続の表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続 が **LAN または高速インターネット** に表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードが取り付けられていない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続 が表示されていれば、ワイヤレスネットワークカードが取り付けられています。

2 ワイヤレスネットワークカードの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

a **ワイヤレスネットワーク接続** を右クリックします。

b **プロパティ** をクリックします。**ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ** ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークカードの名前とモデル番号が **一般** タブに表示されます。

メモ： お使いのコンピュータが **クラシックスタート** メニューオプションに設定されていない場合は、**スタート** → **設定** → **ネットワーク接続** をクリックすることによって、ネットワーク接続を表示できます。**ワイヤレスネットワーク接続** が表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードが取り付けられていない可能性があります。

コンピュータの注文確認書

コンピュータを注文したときに受け取られた注文確認書には、コンピュータに付属のハードウェアとソフトウェアが記載されています。

新しいワイヤレス LAN のセットアップ

ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムの接続

1 インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。

2 ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください。73 ページの「ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続」を参照してください。

3 お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用の CD が付属している場合があります。インストール CD には、通常、インストールとトラブルシューティングに関する情報が含まれています。ルーターの製造元の指示に従って、必要なソフトウェアをインストールします。

4 **スタート** メニューから、お使いのコンピュータと、周辺にあるワイヤレスが有効なその他すべてのコンピュータをシャットダウンします。

5 ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。

6 ネットワークケーブルをコンピュータとモデムから外します。

メモ： ブロードバンドモデムを外した後、5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。

7 AC アダプタケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに接続された電源がないことを確認します。

8 ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。

9 ネットワークケーブルのもう一方の端を電源の入っていないワイヤレスルーターのインターネットネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。

10 モデムとワイヤレスルーターを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

メモ： 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再スタートさせます。

11 ブロードバンドモデムのみに電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 12 に進みます。

12 ワイヤレスルーターの電源を入れ、ワイヤレスルーターが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 13 に進みます。

13 コンピュータを起動し、起動プロセスが完了するまで待ちます。

14 ワイヤレスルーターに付属のマニュアルを参照し、次の操作を実行して、ワイヤレスルーターをセットアップします。

- コンピュータとワイヤレスルーター間の通信を確立します。
- ワイヤレスルーターをブロードバンドルーターと通信できるように設定します。
- ワイヤレスルーターのブロードキャスト名を検索します。ルーターのブロードキャスト名の専門用語は、Service Set Identifier（SSID）またはネットワーク名です。

15 必要に応じて、ワイヤレスネットワークカードを設定し、ワイヤレスネットワークに接続します。
76 ページの「ワイヤレス LAN への接続」を参照してください。

ワイヤレス LAN への接続

 **メモ：**ワイヤレス LAN に接続する前に、必ず 74 ページの「ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)」の手順に従ってください。

 **メモ：**次のネットワークへの接続手順は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジによるネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。お使いのコンピュータをワイヤレス LAN へ接続するための準備の詳細に関しては、74 ページの「ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)」を参照してください。

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。

 **メモ：**ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でカード名を検索します。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプに関しては、74 ページの「お使いのワイヤレスネットワークカードの確認」を参照してください。

ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります。

- お使いのワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティ
- Windows XP オペレーティングシステム

ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** → **ネットワーク接続** をクリックします。

2 **ワイヤレスネットワーク接続** アイコンを右クリックして、**利用できるワイヤレスネットワークの表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Windows cannot configure this connection**（Windows ではこの接続を設定できません）というメッセージが表示されたら、ワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Click an item in the list below to connect to a wireless network in range or to get more information**（以下のリストのアイテムをクリックして、範囲内にあるワイヤレスネットワークに接続するか、詳細情報を取得します）というメッセージが表示されたら、Windows XP オペレーティングシステムがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

お使いのコンピュータにインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターでお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **ヘルプとサポート** とクリックします。
2 **ヘルプトピックを選びます** で **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックします。
3 **デバイスガイド** でお使いのワイヤレスネットワークカードのマニュアルを選択します。

ワイヤレス LAN への接続の完了

コンピュータの電源投入時にその地域で（コンピュータに設定のない）ネットワークが検出されると、通知領域（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコン付近にポップアップが表示されます。

画面に表示されるユーティリティのプロンプトの手順に従ってください。

選択したワイヤレスネットワークをコンピュータに設定すると、もう一度ポップアップが表示され、コンピュータがそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。



メモ : セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。



メモ : コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

Dell™ QuickSet を使用したワイヤレスネットワークカードのステータスのモニタ

ワイヤレスアクティビティインジケータでは、お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスのステータスを容易にモニタできます。このインジケータは、コンピュータの内蔵ワイヤレスデバイスが有効か、無効かを表示します。ワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすると、ワイヤレスアクティビティインジケータにステータスが表示されるようになります。

ワイヤレススイッチでワイヤレスネットワーク接続を有効または無効にした時に、ワイヤレスアクティビティインジケータが表示されるようにするオプションを、オンまたはオフに切り替えることができます。タスクバーの Dell QuickSet アイコンをクリックしてから **Hotkey Popups**（ホットキーポップアップ）をクリックし、**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータをオフにする）を選択するか、選択解除してください。

ワイヤレスアクティビティインジケータの詳細に関しては、『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルを参照してください。QuickSet および 『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルへのアクセス方法については、131 ページの「Dell™ QuickSet」を参照してください。

モバイルブロードバンド（またはワイヤレスワイドエリアネットワーク）

モバイルブロードバンドネットワークは、ワイヤレスワイドエリアネットワーク（WWAN）とも呼ばれています。これは、高速デジタルセルラーネットワークで、標準で 30.4 ～ 304.8 メートル（100 ～ 1,000 フィート）しかカバーしないワイヤレスローカルエリアネットワーク（WLAN）よりも、はるかに広範囲なインターネットアクセスを提供します。お使いのコンピュータがセルラーデータの受信地域内にあれば、モバイルブロードバンドネットワークのアクセスを維持できます。高速スピードデジタルセルラーネットワークの受信地域については、お使いのサービスプロバイダにお問い合わせください。



メモ：特定の地域において、お使いの携帯電話から電話をかけることができても、その地域がセルラーデータ受信地域内であるとは限りません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの



メモ：お使いのコンピュータによって、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのいずれかを使用してモバイルブロードバンドネットワーク接続を設定できます。ただし、両方のカードを同時にはは使用できません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続を設定するには、次のものが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカード（お使いのコンピュータの設定によって異なります）



メモ：ExpressCard の使い方に関しては、69 ページの「カードの使い方」を参照してください。

- 有効なモバイルブロードバンド ExpressCard またはご利用のサービスプロバイダで有効になっている加入者識別モジュール（SIM）
- Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティ（お使いのコンピュータの購入時にカードを購入した場合は、コンピュータにインストールされています。コンピュータとは別にカードを購入した場合は、カードに付属する CD に収録されています。）

  このユーティリティが破損したかコンピュータから削除された場合は、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドで手順を参照してください。ユーザーズガイドは、Windows ヘルプとサポートセンターから入手できます（カードをコンピュータと別に購入された場合は、カードに付属する CD に収録されています）。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

お使いのデルモバイルブロードバンドカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータの構成を確認するには、次のいずれかを参照してください。

- お客様の注文確認書
- Microsoft® Windows® ヘルプとサポートセンター

ヘルプとサポートセンターでお使いのモバイルブロードバンドカードを確認するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** → **ヘルプとサポート** → **Tools to view your computer information and diagnose problems**（ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する）をクリックします。
2 **ツール** で **マイコンピュータの情報** をクリックして、**コンピュータにインストールされているハードウェアに関する情報を検索する を選択します**。

マイコンピュータの情報 - ハードウェア 画面に、お使いのコンピュータに取り付けられているモバイルブロードバンドカードのタイプとその他のハードウェアコンポーネントが表示されます。



メモ：モバイルブロードバンドカードのリストは、**モデム** の下に表示されます。

モバイルブロードバンドネットワークへの接続

メモ : 以下の手順は、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードのみに適用されます。これらの手順は、ワイヤレステクノロジ内蔵カードには適用されません。

メモ : インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。Dell Mobile Broadband Card Utility の使い方と追加情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターで入手できるユーザーズガイドを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でもご覧いただけます。また、コンピュータとは別にカードを購入した場合は、カードに付属の CD に収録されています。

次の手順で Dell Mobile Broadband Card Utility を使用して、インターネットへのモバイルブロードバンドネットワーク接続を確立し、管理します

1 Windows デスクトップの Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティアイコン をクリックして、ユーティリティを起動します。

2 **接続** をクリックします。

メモ : 接続 ボタンが **Disconnect**（切断）ボタンに変わります。

3 画面の手順に従って、ユーティリティでネットワーク接続を管理します。

または

1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **Dell Wireless**（デルワイヤレス）をクリックします。

2 **Dell Wireless Broadband**（デルワイヤレスブロードバンド）をクリックして、画面に表示される指示に従います。

Dell モバイルブロードバンドカードの有効化および無効化

メモ : モバイルブロードバンドネットワークに接続できない場合は、モバイルブロードバンド接続の設定に必要なすべてのコンポーネント（78 ページの「モバイルブロードバンドネットワーク接続の設定に必要なもの」を参照）が揃っていることを確認してから、ワイヤレススイッチの設定を確認してモバイルブロードバンドカードが有効になっていることを確認してください。

お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスは、コンピュータ左側のワイヤレススイッチでオンおよびオフを切り替えられます（20 ページの「左側面図」を参照）。

スイッチが「オン」の場合は「オフ」にして、スイッチとモバイルブロードバンドカードを無効にします。スイッチが「オフ」の場合はスイッチを「オン」にして、スイッチと Dell モバイルブロードバンドカードを有効にします。ワイヤレススイッチの位置については、20 ページの「ワイヤレススイッチ」を参照してください。

ワイヤレスデバイスのステータスをモニタする方法については、77 ページの「Dell™ QuickSet を使用したワイヤレスネットワークカードのステータスのモニタ」を参照してください。

Dell™ Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ

お使いの Dell コンピュータのワイヤレススイッチは、Dell Wi-Fi Catcher ネットワークロケータソフトウェアを使用して、近隣の WiFi ワイヤレスローカルエリアネットワーク（LAN）を取り込みます。

WiFi ネットワークを取り込むには、スイッチをコンピュータの前面方向にスライドさせてから手を離します。スイッチが中間の「オン」の位置に戻ります。ネットワークロケーター機能をオフにするには、スイッチを背面方向にスライドさせて「オフ」にします。QuickSet または BIOS（システム設定プログラム）で WiFi ネットワーク接続を制御するようにスイッチが設定されている場合、お使いのコンピュータがオン、オフ、休止状態モード、スタンバイモードのいずれかであっても Wi-Fi Catcher ネットワークロケータソフトウェアは機能します。

Wi-Fi Catcher ネットワークロケータソフトウェアおよび QuickSet による機能の有効化についての詳細は、『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルを参照してください。『ヘルプ』ファイルへアクセスするには、タスクバーの アイコンをクリックし、**Help**（ヘルプ）をクリックします。

Microsoft® Windows® ファイアウォール

Windows ファイアウォールは、インターネットに接続中のコンピュータへの不正なアクセスに対する基本的な保護を提供します。ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの **ネットワーク接続** に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。



メモ：Windows ファイアウォールを有効にしても、ウィルスチェックソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムのヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

10

コンピュータのセキュリティ保護

セキュリティケーブルロック

メモ： お使いのコンピュータには、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは市販の盗難防止用品です。セキュリティケーブルロックは、お使いの Dell™ コンピュータのセキュリティケーブルスロットに取り付けて使用します。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

注意： 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。



パスワード

パスワードはコンピュータへの不正なアクセスを防止します。パスワードの使用に際して、次のガイドラインに注意してください。

- 覚えやすく推測されにくいパスワードを選びます。例えば、家族やペットの名前をパスワードに使用しないようにします。
- パスワードは覚え書きしないことをお勧めします。覚え書きする場合は、必ずパスワードを安全な場所に保管してください。
- パスワードは他人と共有しないようにします。
- パスワードの入力を他人に見られないようにします。

注意 : パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、暗号化機能の付いた PC カード（またはミニカード）などを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

Microsoft® Windows® オペレーティングシステムにある コントロールパネルの **ユーザーアカウント** オプションで、ユーザーアカウントを作成したりパスワードを変更します。ユーザーパスワードを作成すると、コンピュータに電源を入れる、またはロックを解除するたびにそのパスワードを入力する必要があります。2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

詳細に関しては、お使いの Windows マニュアルを参照してください。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合に、コンピュータの位置を突き止めることができます。コンピュータ追跡ソフトウェアはオプションです。このソフトウェアは Dell™ コンピュータを注文する際にご購入いただくか、このソフトウェアのセキュリティ機能に関して、デルの営業担当にお問い合わせください。

メモ : コンピュータ追跡ソフトウェアは、すべての国で使用できるとは限りません。

メモ : コンピュータ追跡ソフトウェアを備えたコンピュータが紛失したり盗難に遭った場合は、追跡サービスを提供する会社にコンピュータの紛失を届け出てください。

コンピュータを紛失するか盗難に遭った場合

- 警察に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら控えておきます。できれば、応対した担当者の名前も尋ねておきます。

メモ : コンピュータを紛失した場所または盗難に遭った場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

11

トラブルシューティング

Dell Diagnostics（診断）プログラム

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、94 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

注意 : Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ機能します。

メモ :『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブまたは『Drivers and Utilities CD』（『ResourceCD』とも呼ばれます）から起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブから起動する場合

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

メモ : コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、デルまでお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

1 コンピュータをシャットダウンします。
2 コンピュータをコンセントに接続します。
3 Diagnostics（診断）は次の 2 つの方法で開始することができます。
   a コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics**（診断）を選択し、<Enter> を押します。

   メモ : ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

   b システムが起動する間、<Fn> キーを押し続けます。

   メモ : 診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics（診断）を実行します。

起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
- 問題が検出された場合は、コンピュータはビープ音を出して停止します。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
- 起動前システムアセスメントの実行中に問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、`Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue.`（Dell Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。）というメッセージが表示されます。

4 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティリィティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

Dell Diagnostics（診断プログラム）を Drivers and Utilities CD から起動する場合

1 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。
2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

メモ : 次の手順は、起動順序を一回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3 起動デバイス一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW ドライブ** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
5 `1` を入力して、『Resource CD』メニューを開始し、<Enter> を押して続行します。
6 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
7 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1 Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ～ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に **Express Test** を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。



メモ：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

4 テストが完了し、Dell Diagnostics（診断）プログラムを『Drivers and Utilities CD』から実行中の場合、CD を取り出します。

5 テストが完了したら、テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされており、タスクバーのデルサポートアイコンまたは **スタート** ボタンから使用できます。このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態スキャンに使用します。

デルサポートユーティリティへのアクセス

デルサポートユーティリティは、タスクバーのデルサポートアイコンまたは **スタート** メニューからアクセスできます。

デルサポートアイコンがタスクバーに表示されていない場合、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** をポイントします。

2 **デルサポート** をクリックし、**デルサポート設定** をポイントします。

3 **Show icon on the taskbar**（タスクバーのアイコンを表示する）オプションがチェックされていることを確認します。



メモ：デルサポートユーティリティが **スタート** メニューから利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされています。

タスクバーのデルサポートアイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、 アイコンをクリックまたは右クリックします。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティ設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了

デルサポートアイコンのダブルクリック

アイコンをダブルクリックすると、お使いのコンピュータ環境の手動チェック、よくあるお問い合わせ（FAQ）の表示、デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス、デルサポート設定の表示を実行できます。

デルサポートユーティリティの詳細に関しては、デルサポート画面の上部にある疑問符（**?** ）をクリックしてください。

ドライブの問題

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識していることを確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピー、CD、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — バッテリー駆動時間の詳細に関しては、147 ページの「コンピュータのクリーニング」を参照してください。

CD ドライブトレイのスピンドルに CD がきちんとはまっていることを確認します

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します — 104 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 83 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

 **メモ：**高速な CD ドライブや DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。CD や DVD ドライブの故障ではありません。

 **メモ：**様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

CD/DVD-RW ドライブへの書き込み問題

その他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD/DVD-RW への書き込みの前に WINDOWS のスタンバイモードを無効にします — スタンバイモードについては、39 ページの「省電力モード」を参照してください。

書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2 クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3 トレイが止まるまで慎重に引き出します。

聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

ハードドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2 **ローカルディスク C：**を右クリックします。
3 **プロパティ** をクリックします。
4 **ツール** タブをクリックします。
5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
6 **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。
7 **開始** をクリックします。

E- メール、モデム、およびインターネットの問題

 **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

 **メモ :** モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E- メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

1 Outlook Express で、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
2 **ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線の接続を確認します

電話ジャックを確認します

モデムを直接電話ジャックへ接続します

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは緑色のラベル、もしくはコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、FAX、サージプロテクタ、またはラインスプリッタなど、その他の電話デバイスで回線を共有している場合、これらをバイパスし、モデムを直接電話ジャックに差し込みます。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。（一部のコンピュータでは、Modem Helper を利用できない場合があります。）

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
4 **モデム** タブをクリックします。
5 モデムの COM ポートをクリックします。
6 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

   すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットへの接続を確認します — ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E- メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてマークを外し、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

エラーメッセージ

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー — タッチパッド、トラックスティックまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **ポインティングデバイス** オプションを有効にします（145 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照）。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました — マイクロプロセッサに内蔵の 1 次キャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

CD ドライブコントローラエラー — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません。86 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

データエラー — ハードドライブからデータを読むことができません。86 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

使用可能メモリ減少 — メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。114 ページの「メモリ」を参照してください。

ディスク C：初期化失敗 — ハードドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Drive** テストを実行します。83 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

ドライブの準備ができていません — 操作を続行する前に、ベイにはハードドライブが必要です。ハードドライブベイにハードドライブを取り付けます。112 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

PCMCIA カードの読み取りエラー — コンピュータが、ExpressCard を認識できません。カードを挿入しなおすか、別のカードを使用してください。69 ページの「ExpressCard」を参照してください。

拡張メモリの容量が変更されています — NVRAM に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、デルにお問い合わせください。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません：¥ / : * ? " < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

GATE A20 エラー — メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。114 ページの「メモリ」を参照してください。

一般的な障害 — オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（例えば、`Printer out of paper` [プリンタの用紙がありません]）が付きます。適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（112 ページの「ハードドライブ」を参照）コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（83 ページを参照）。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0— ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（112 ページの「ハードドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（83 ページを参照）。

ハードディスクドライブエラー — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（112 ページの「ハードドライブ」を参照）コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（83 ページを参照）。

ハードディスクドライブ読み取りエラー — ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（112 ページの「ハードドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（83 ページを参照）。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしています。起動可能 CD を挿入します。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティ内の対応するオプションを修正します（145 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照）。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（83 ページを参照）。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（83 ページを参照）。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（83 ページを参照）。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Stuck Key** テストを実行します（83 ページを参照）。

MEDIADIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません — Dell MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理（DRM）制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません。95 ページの「Dell MediaDirect™ の問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（114 ページの「メモリ」を参照）。

メモリの割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（114 ページの「メモリ」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（114 ページの「メモリ」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 遇数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（114 ページの「メモリ」を参照）。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（114 ページの「メモリ」を参照）。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分（パーティション）されているか確認します。

ハードドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（83 ページを参照）。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおします — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードドライブを再インストールします（112 ページの「ハードドライブ」を参照）。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

オプション ROM のチェックサムが違います — オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1 スタート ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
3 削除したいプログラムを選択します。
4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックし、画面の指示メッセージに従います。
5 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を調べます。手順に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。多くのセクターに障害がある場合、可能であればデータをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンが失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（83 ページを参照）。

内部時計の電力低下 — システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。それからすぐにプログラムを終了します。145 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照してください。メッセージが再び表示される場合は、デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

内部時計が停止しました — システム設定をサポートする予備バッテリーに、再充電が必要である可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

内部時計が設定されていません。システムセットアップユーティリティを実行してください。 — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date**（日付）および **Time**（時間）オプションの設定を修正します。145 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照してください。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（83 ページを参照）。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みがありました — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Memory** テストおよび **Keyboard Controller** テストを実行します（83 ページを参照）。

X:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

警告：バッテリーが極めて低下しています — バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モード をアクティブにするか、コンピュータをシャットダウンします。

ExpressCard の問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

EXPRESSCARD をチェックします — ExpressCard が正しくコネクタに挿入されているか確認します。

WINDOWS でカードが認識されているか確認します — Windows タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入した EXPRESSCARD に問題がある場合 — デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。また、モバイルブロードバンド（WWAN）ExpressCard に関しては、96 ページの「ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）のトラブルシューティングの詳細については、74 ページの「ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)」を参照してください。」を参照してください。

デル以外から購入した EXPRESSCARD に問題がある場合 — ExpressCard 製造元にお問い合わせください。

IEEE 1394 デバイスの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

WINDOWS が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デル製の IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルまたは IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルまたは IEEE1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

キーボードの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ : Dell Diagnostics（診断）プログラムまたはセットアップユーティリティを実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

外付けキーボードの問題

メモ : 外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンし、1 分たってから再度電源を入れます。
2 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。
3 Windows デスクトップで **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** → **アクセサリ** とポイントして、**メモ帳** をクリックします。
4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンします。
2 外付けキーボードを取り外します。
3 コンピュータの電源を入れます。
4 Windows デスクトップで **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** → **アクセサリ** とポイントして、**メモ帳** をクリックします。
5 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

キーボードの診断テストを実行します — Dell Diagnostics（診断）プログラムの **PC-AT Compatible Keyboards** テストを実行します（83 ページを参照）。テスト結果によって外付けキーボードの問題であると示された場合、デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lk> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない

AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの応答が停止した

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返す

プログラムを終了します —

1 <Crtl><Shift><Esc> を同時に押します。
2 **アプリケーション** タブをクリックし、反応しなくなったプログラムを選択します。
3 **タスクの終了** をクリックします。

メモ : コンピュータを再起動したときに chkdsk プログラムが実行されることがあります。画面に表示される指示に従ってください。

プログラムのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。 通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します — Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ**をクリックします。
3 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

Dell MediaDirect™ の問題

DELL MEDIADIRECT ヘルプファイルで情報をチェックします — ヘルプにアクセス するには、Dell MediaDirect 画面の下部にある疑問符（?）アイコンをクリックします。

DELL MEDIADIRECT で映画を再生するには、DVD ドライブと DELL DVD PLAYER が必要です —コンピュータと一緒に DVD ドライブを購入した場合、このソフトウェアはすでにインストールされています。

ビデオの品質上の問題 — Use Hardware Acceleration（ハードウェアアクセラレーションを使う）オプションをオフにします。この機能は、DVD や特定タイプのビデオファイルを再生するときに、一部のグラフィックスカードの特別な処理を利用して、プロセッサ要件を軽減します。

一部のメディアファイルを再生できない — Dell MediaDirect では、Windows XP オペレーティングシステム環境外のメディアファイルへのアクセスが可能であるため、ライセンス付きコンテンツへのアクセスが制限されています。ライセンス付きコンテンツとは、デジタル権限管理（DRM）が適用されるデジタルコンテンツです。Dell MediaDirect 環境では、DRM 制限を検証できないので、ライセンス付きファイルを再生できません。ライセンス付きのミュージックファイルやビデオファイルには、その横に錠のアイコンが付いています。ライセンス付きファイルは、Windows XP オペレーティングシステム環境でアクセスできます。

暗すぎるシーンや明るすぎるシーンがある映画のカラー設定の調節 — EagleVision をクリックして、ビデオ拡張機能テクノロジを使用します。この機能により、ビデオコンテンツが検知され、輝度、コントラスト、および彩度の比率が動的に調節されます。



注意 : ハードドライブを自発的に再フォーマットした場合は、Dell MediaDirect 機能を再インストールできません。この場合には、デルにご相談ください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、[スタート] メニューからコンピュータをシャットダウンします

コンピュータでスパイウェアをスキャンします —コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。83 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

メモリの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、メモリを増設します（114 ページの「メモリ」を参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（114 ページの「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（83 ページを参照）。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（114 ページの「メモリ」を参照）。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（114 ページの「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（83 ページを参照）。

ネットワークの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびウォールコネクタの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します — ライトが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）のトラブルシューティングの詳細については、74 ページの「ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)」を参照してください。

モバイルブロードバンド（ワイヤレス WAN）

メモ : Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドおよびモバイルブロードバンド ExpressCard のユーザーズガイドは、Windows ヘルプとサポートセンターから入手できます。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドは、**support.jp.dell.com** からもダウンロードできます。

メモ : コンピュータからすべてのネットワークケーブルを取り外し、WLAN カードを無効にします。WLAN カードを無効にするには、**Start**（スタート）→ **Connect To**（接続する）→ **Wireless Network Connection**（ワイヤレスネットワーク接続）→ **Disable**（無効にする）をクリックします。

メモ : コンピュータに Dell モバイルブロードバンド（ワイヤレスワイドエリアネットワーク [WWAN]）デバイスが取り付けられている場合は、アイコンが通知領域に表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、ユーティリティが始動します。

モバイルブロードバンド EXPRESSCARD をアクティブにします — ネットワークに接続する前に、モバイルブロードバンド ExpressCard をアクティブにする必要があります。通知領域の アイコンにマウスを合わせると、接続のステータスが確認できます。カードがアクティブでない場合、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティにある、カードをアクティブにする手順に従ってください。このユーティリティにアクセスするには、画面右下隅のタスクバーにある アイコンをダブルクリックします。お使いの ExpressCard がデル製のカードでない場合は、お使いのカードの製造元の手順を参照してください。

DELL モバイルブロードバンドカードユーティリティでネットワーク接続ステータスを確認します — アイコンをダブルクリックして、Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを始動します。メインウィンドウで次のステータスを確認します。

- **No card detected**（カードを検出できませんでした）— コンピュータを再スタートして、もう一度 Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティを始動してください。
- **Check your WWAN service**（お使いの WWAN サービスを確認してください）— お使いのセルラーサービスプロバイダにお客様のプランの適用範囲とサポートサービスを確認してください。

電源の問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトを確認します —電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

メモ : スタンバイモードについては、39 ページの「省電力モード」を参照してください。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

1. バッテリーを取り付けなおします。
2. AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。
3. コンピュータの電源を入れます。

メモ : バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリーの充電が不足しているか、または充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

バッテリーの温度を確認してください — バッテリーの温度が 0 ℃ 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します — 39 ページの「省電力モード」を参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします（114 ページの「メモリ」を参照）。

コンピュータへの十分な電力の確保

お使いのコンピュータは、コンピュータに同梱されている 65 W AC アダプタを使用するように設計されています。最適なシステムパフォーマンスを得るためには、常にこのアダプタを使用してください。

プリンタの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ : プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかり接続されているか確認します。

コンセントを確認します —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

WINDOWS でプリンタを検出します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。

プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。

3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** を **LPT1：プリンタポート** に設定します。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします —再インストールの手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ : スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — スキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

2 **スキャナとカメラ** をクリックします。

お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

サウンドおよびスピーカーの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

内蔵スピーカーから音が出ない場合

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下にある黄色のスピーカーのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

サウンド(オーディオ)ドライバを再インストールします — 102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照してください。

外付けスピーカーから音が出ない場合

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS ボリュームコントロールの調整 — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

オーディオドライバを再インストールします — 102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS(診断)プログラムを実行します — 83 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照してください。



メモ : MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレイヤーの音量が十分か確認してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（22 ページを参照）。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2 **マウス** をクリックします。
3 設定を変更してみます。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンします。
2 マウスを外します。
3 コンピュータの電源を入れます。
4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。
   タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

タッチパッドドライバを再インストールします — 102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照してください。

ビデオとディスプレイの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

画面に何も表示されない場合

メモ : お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電源のプロパティを調整します — Windows のヘルプとサポートセンター でスタンバイというキーワードを検索します。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

画面モードを切り替えます — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

画面が見づらい場合

輝度を調節します — <Fn> と上下矢印キーを押します。

外付けのサブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します — 外付けスピーカーにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

WINDOWS のディスプレイ設定を調節します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
4 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

「エラーメッセージ」を参照してください — エラーメッセージが表示される場合、89 ページの「エラーメッセージ」を参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します —

1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください。135 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。



注意：『Drivers and Utilities CD』は、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも含まれている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウインドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[!] の付いた黄色い丸）が付いているものがないか確認します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります。102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照してください。

ドライバおよび ユーティリティの再インストール



注意 : デルサポートウェブサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータに適切なドライバを提供しています。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。



メモ : 『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートしたためにシステムが不安定になった場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウインドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
7 **ドライバ** タブをクリックします。
8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元（105 ページの「Microsoft Windows XP システムリストアの使い方」を参照）を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼動状態にコンピュータを戻します。

Drivers and Utilities CD の使い方

 **メモ：**『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元 を使用しても問題が解決しない場合は、ドライバを『Drivers and Utilities CD』から再インストールします。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

   ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合は 、Windows エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。

3 ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語（利用可能な場合）をクリックします。**▲ Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます** 画面が表示されます。

4 **次へ** をクリックします。

   CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

5 CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム** および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

   コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

7 **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

   インストール ボタンが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

   ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

ドライバの手動インストール

 **メモ：**お使いのコンピュータに赤外線センサーが搭載されていて、赤外線センサードライバを再インストールする場合は、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから （145 ページの「セットアップユーティリティ画面の使い方」を参照）、ドライバのインストールを続行します。102 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。お使いのコンピュータに取り付けられているコンポーネントに関しては、15 ページの「お使いのコンピュータの構成確認」を参照してください。

1 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍してから、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。

2 **プロパティ** をクリックします。

3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。

4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（例えば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。
5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7 一覧または **特定の場所からインストールする（詳細）** をクリックして、**次へ** をクリックします。
8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違って設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をクリックして検索を始めます。
3 **検索の結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft® Windows® XP のシステムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、お使いのコンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。手順については、105 ページの「Microsoft Windows XP システムリストアの使い方」を参照してください。
- Symantec による Dell PC リストアは、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。Dell PC リストアはハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションも取り除きます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC リストアを使用してください。手順については、106 ページの「Symantec による Dell PC リストアの使い方」を参照してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付属している場合は、この CD を使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム CD』を使用すると、ハードドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、この CD を使用してください。手順については、108 ページの「オペレーティングシステム CD の使い方」を参照してください。

Microsoft Windows XP システムリストアの使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプにアクセスするには、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

 **注意：**データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

 **メモ：**このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。

2 **システムの復元** のタスクをクリックします。

3 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック（102 ページを参照）を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

 **注意：**コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。

2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。

3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

   カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意：最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**プログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。

2 **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。

システムの復元の有効化

200 MB しか空容量のないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合は、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。

2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。

3 **システム** をクリックします。

4 **システムの復元** タブをクリックします。

5 **システムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

Symantec による Dell PC リストアの使い方

注意：Dell PC リストアを使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取られてから後にインストールされたすべてのアプリケーションプログラムやドライバも取り除かれます。PC リストアを使用する前にデータをバックアップしてください。 システムの復元（105 ページの「Microsoft Windows XP システムリストアの使い方」を参照）でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC リストアを使用してください。

メモ：Symantec による Dell PC リストアは、一部の国および一部のコンピュータでは使用できない場合があります。

Symantec による Dell PC リストアは、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。PC リストアは、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC リストアを使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

PC リストアは、以下の手順で実行します。

1 コンピュータの電源を入れます。

起動プロセスの間、画面の上部に青色のバーで **www.dell.com** と表示されます。

2 青色のバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。

<Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータがスタートし終わるのを待って、もう一度再スタートします。

注意：PC リストアをこれ以上進めたくない場合は、次の手順で **再起動** をクリックします。

3 次の画面で **復元** をクリックします。

4 次の画面で **承認** をクリックします。

復元プロセスが完了するまでに、約 6 ～ 10 分かかります。

5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

 **メモ :** コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックし、コンピュータを完全に再起動させせます。

6 プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。

コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

7 **次へ** をクリックします。

システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Dell PC リストアの削除

 **注意 :** Dell PC リストアをハードドライブから永久に削除すると、PC リストアユーティリティがお使いのコンピュータから削除されます。Dell PC リストアを取り除いた後は、それを使ってお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC リストアを使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータから PC リストアを削除しないことをお勧めします。ハードドライブから PC リストアを削除すると、今後、PC リストアを呼び出すことができず、PC リストアを使用してコンピュータのオペレーティングシステムを、出荷時の状態に戻すことができなくなります。

PC リストアを削除するには次の手順を実行します。

1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。

2 Windows エクスプローラで、**c:¥dell¥utilities¥DSR** に移動します。

3 **DSRIRRemv2.exe** ファイルをダブルクリックします。

 **メモ :** ローカルのシステム管理者としてログオンしていない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックして、ローカルのシステム管理者としてログオンします。

 **メモ :** お使いのコンピュータのハードドライブに PC リストア用パーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックしてください。削除するパーティションがありません。

4 **OK** をクリックして、ハードドライブの PC リストア用パーティションを取り除きます。

5 確認のメッセージが表示されたら、**はい** をクリックします。

PC リストア用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。

6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク（C）**をクリックし、**プロパティ** をクリックして、**空き領域** に追加されたスペースが加えられていることを確認します。

7 **終了** をクリックして、**PC リストアの削除** ウィンドウを閉じます。

8 コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステム CD の使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます（102 ページを参照）。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。105 ページの「Microsoft Windows XP システムリストアの使い方」を参照してください。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™『オペレーティングシステム CD』
- Dell『Drivers and Utilities CD』


メモ：『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータの組み立て時に、工場でインストールされたドライバが含まれています。『Drivers and Utilities CD』を使用して必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータの購入場所、CD の注文の有無によっては、『Drivers and Utilities CD』および 『オペレーティングシステム CD』がコンピュータに付属されていない場合もあります。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。


注意：『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストールのオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。


注意：Windows XP との拮抗を防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属されているマニュアルを参照してください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。`Install Windows XP` のメッセージが表示されたら、**Exit** をクリックします。
3. コンピュータを再起動します。
4. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。

   オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
5. 矢印キーを押して **CD-ROM** を選んでから <Enter> を押します。
6. `Press any key to boot from CD` というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。
7. **Windows XP セットアップ** 画面が表示されたら、<Enter> を押します。
8. 画面の指示に従って、再インストールを完了します。
9. オペレーティングシステムの再インストールが完了したら、必要に応じてドライバとアプリケーションプログラムを再インストールします。102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照してください。

12

部品の増設および交換

作業を開始する前に

本項では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」（このページを参照）および「コンピュータ内部の作業を始める前に」（109 ページを参照）を実行していること。
- Dell™『製品情報ガイド』の安全に関する情報を読んでいること。
- コンポーネントを交換するか別途購入している場合、取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- Flash BIOS アップデートプログラム CD

コンピュータの電源を切る


注意：データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。

開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムを終了し、**スタート** → **シャットダウン** → **シャットダウン** とクリックします。

オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。

2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを数秒間押したままにします。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。


警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


注意：部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

注意：コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

注意：ケーブルを外すときは、コネクタまたはプルタブの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。

注意：コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1 コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。

2 コンピュータの電源を切ります。109 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照してください。

3 コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイス付属のマニュアルを参照してください。

注意：ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからネットワークケーブルを外し、次に、ネットワークデバイスから外します。

4 コンピュータからすべての電話ケーブルまたはネットワークケーブルを外します。

5 ディスプレイを閉じ、コンピュータを平らな作業台に裏返します。

6 コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外し。

注意：システム基板への損傷を避けるため、コンピュータを修理する前にメインバッテリーをバッテリーベイから取り外します。

7 メインバッテリーを取り外します。

a コンピュータの底部にあるバッテリーベイリリースラッチをカチッという音がするまでスライドさせます。

b コンピュータの背面方向にバッテリーをスライドさせ、バッテリーを持ち上げてベイから取り外します。



1 バッテリーベイリリースラッチ　2 バッテリー（図では 9 セルバッテリーを表示）　3 バッテリータブ（2）

メモ：バッテリーを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序で実行します。バッテリーを取り付けるときは、コンピュータのベースの対応するスロットに 2 つのバッテリータブが正しく挿入されていることを確認してください。

8 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
9 取り付けられている ExpressCard をすべてスロットから取り外します。
10 メディアが取り付けられている場合は、オプティカルドライブから取り外します。
11 ハードドライブを取り外します（112 ページの「ハードドライブ」を参照）。

オプティカルドライブ

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

1 コンピュータを裏返します。
2 オプティカルドライブ固定ネジを外します。
3 スクライブをネジ穴の近くの切り込みに差し込み、スクライブをオプティカルドライブベイ方向に押してオプティカルドライブをベイから取り出します。
4 ドライブをスライドさせてベイから取り出します。



1	オプティカルドライブ固定ネジ	2	オプティカルドライブ

ハードドライブ

⚠ **警告 : ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。**

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

注意 : データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください（109 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照）。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

注意 : ハードドライブは大変壊れやすく、わずかにぶつけただけでもドライブが損傷を受ける場合があります。

メモ : デルではデル製品以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

メモ : デル以外から購入したハードドライブを取り付ける場合は、新しいハードドライブにオペレーティングシステム、ドライバ、およびユーティリティをインストールする必要があります（104 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」および 102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照）。

ハードドライブベイのハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 コンピュータを裏返し、4 本のハードドライブネジを取り外します。



1	ハードドライブネジ（4）	2	ハードドライブ

注意 : ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

3 ハードドライブをコンピュータから引き出します。

4 ハードドライブキャリアのプラスチックを慎重に曲げ、ハードドライブキャリアからハードドライブを取り外します。



1	ハードドライブ	2	ハードドライブキャリア

5 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。

6 元のハードドライブを取り外したハードドライブキャリアに新しいドライブを取り付けます。

注意：ドライブを所定の位置に挿入するには、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

7 交換用ハードドライブをキャリアにスライドさせ、ハードドライブベイの所定の位置に収めます。

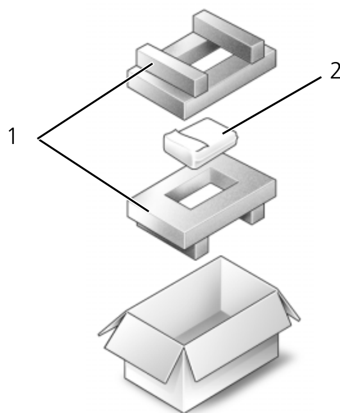
8 4 本のハードドライブネジを取り付け、締めます。

9 お使いのコンピュータのオペレーティングシステムをインストールします（104 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）。

10 お使いのコンピュータのドライバおよびユーティリティをインストールします（102 ページの「ドライバおよび ユーティリティの再インストール」を参照）。

ハードドライブをデルに返品する場合

ハードドライブをデルに返品する場合は、そのドライブが梱包されていた箱、または同等の発泡スチロール製の梱包材に入れて返送してください。正しく梱包しないと、ハードドライブが運搬中に破損する場合があります。



1	発泡スチロール製の梱包材	2	ハードドライブ

メモリ

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、137 ページの「仕様」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

メモ : デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。

2 コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーの拘束ネジを緩め、メモリモジュールカバーを取り外します。



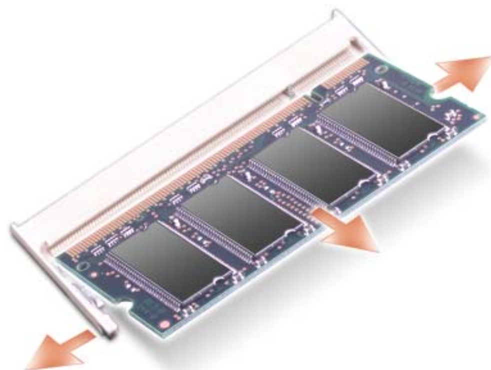
注意：メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

3 メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。

a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

b モジュールをコネクタから取り外します。

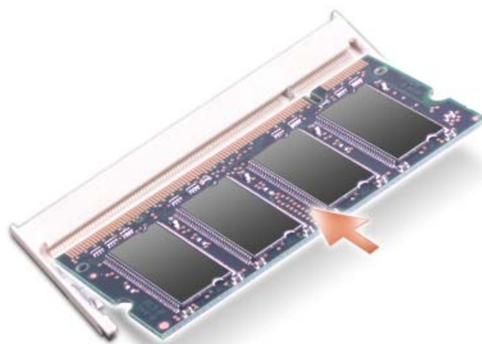


メモ：メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

4 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。

b モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。



5 メモリモジュールカバーを取り付け、カバーの拘束ネジを締めます。

注意 : カバーが閉まりにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

6 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

7 ハードドライブを再インストールします（112 ページの「ハードドライブ」を参照）。

8 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに搭載されているメモリ容量を確認するには、**スタート** → **ヘルプとサポート** → **Dell System Information**（Dell システム情報）とクリックします。

ヒンジカバー

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ヒンジカバーを取り外します。

a ディスプレイを完全に（180 度）開いて、作業面に対して平らになるようにします。

注意 : ヒンジカバーへの損傷を防ぐため、カバーの両側を同時に持ち上げないでください。

b プラスチックスクライブをヒンジカバー右側のくぼみに挿入します。

c ヒンジカバーを緩めて持ち上げ、右から左に動かして取り外します。

メモ：ヒンジカバーを取り付ける場合は、左端を先に挿入し、カバーがカチッと音がして所定の位置に収まるまで左から右へ押し下げます。



1	ヒンジカバー	2	スクライブ

キーボード

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意：システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前にバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。

2 ディスプレイを開きます。

3 ヒンジカバーを取り外します（116 ページの「ヒンジカバー」を参照）。

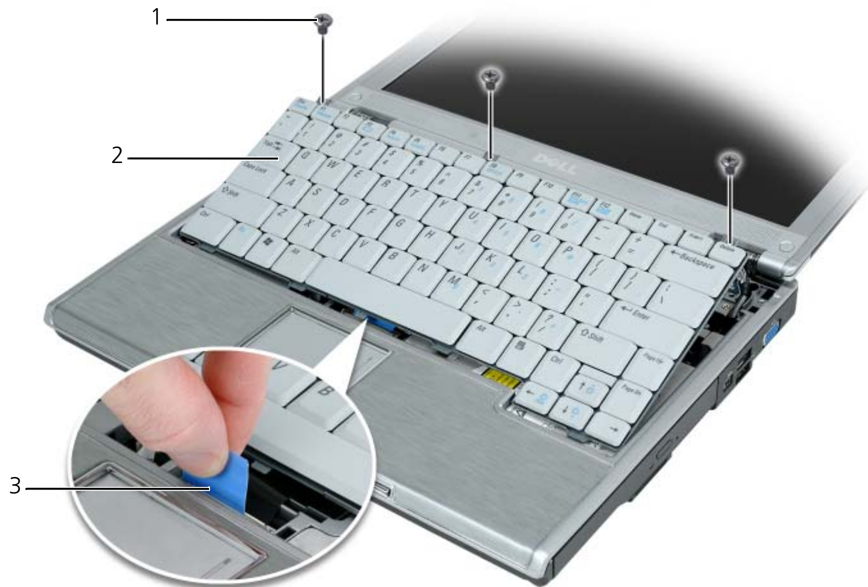
4 キーボードを取り外します。

a キーボードの上部にある 3 本 のネジを外します。

注意：キーボード上のキーキャップは壊れたり、外れたりしやすく、また取り付けに時間がかかります。キーボードの取り外しや取り扱いには注意してください。

b キーボードを持ち上げて、キーボードのコネクタが見えるまで少し前方にスライドさせます。

c プルタブを引き上げ、キーボードケーブルをシステム基板のキーボードコネクタから取り外します。



1	ネジ（3）	2	キーボード	3	キーボードコネクタプルタブ

注意：キーボードを取り付ける際にパームレストへの損傷を避けるため、キーボード前側のタブをパームレストに引っ掛け、キーボード上部付近の右端を押してカチッという感触があり、キーボードが所定の位置に収まってから、3 本のネジをキーボード上部に取り付けます。

ワイヤレス LAN カード

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意：システム基板への損傷を避けるために、コンピュータ内部の作業を開始する前にメインバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
2 ヒンジカバーを取り外します（116 ページの「ヒンジカバー」を参照）。
3 キーボードを取り外します（117 ページの「キーボード」を参照）。
4 通信カードカバーの拘束ネジを緩めます。



5 ワイヤレス LAN カードが取り付けられていない場合は、手順 6 に進んでください。ワイヤレス LAN カードを交換する場合は、既存のカードを取り外します。

a ワイヤレス LAN カードから 2 本のアンテナケーブルを外します。



1	ワイヤレス LAN カード	2	アンテナケーブルコネクタ（2）

b ワイヤレス LAN カードが少し持ち上がるまで金属製固定タブをコンピュータの背面方向に押し、カードを取り外します。

c ワイヤレス LAN カードを持ち上げてシステム基板のコネクタから取り外します。



1　金属製固定タブ（2）

注意 : コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、カードとシステム基板のコネクタを確認し、カードを再配置してください。

6 次の手順で、交換用ワイヤレス LAN カードを取り付けます。

a 45 度の角度でワイヤレス LAN カードをシステム基板のコネクタに差し込み、カチッという感触があり、ワイヤレス LAN カードが所定の位置に収まるまで、カードのもう一方を固定タブに押し下げます。



注意 : ワイヤレス LAN カードの損傷を避けるために、カードの下にケーブルがないことを確認してください。

メモ : お使いのワイヤレス LAN カードには、ご注文のカードタイプに応じて 2 つまたは 3 つのコネクタが付いています。

メモ : コンピュータに灰色のケーブルがある場合は、お使いのカードで使用できるのであれば、灰色の三角形の付いたコネクタに接続します。各ケーブルを接続するコネクタについては、ワイヤレス LAN カード付属のマニュアルを参照してください。

b 2 本のアンテナケーブルをワイヤレス LAN カードに接続します（黒色の補助ケーブルを黒色の三角形の付いたコネクタに接続し、白色のメインケーブルを白色の三角形の付いたコネクタに接続します）。



1	アンテナケーブルコネクタ（2）	2	三角形（2）

モバイルブロードバンドカード

 **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

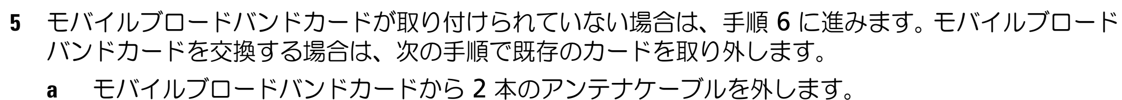
 **注意 :** システム基板への損傷を避けるために、コンピュータ内部の作業を開始する前にメインバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。

2 ヒンジカバーを取り外します（116 ページの「ヒンジカバー」を参照）。

3 キーボードを取り外します（117 ページの「キーボード」を参照）。

4 通信カードカバーの拘束ネジを緩めます。



5 モバイルブロードバンドカードが取り付けられていない場合は、手順 6 に進みます。モバイルブロードバンドカードを交換する場合は、次の手順で既存のカードを取り外します。

   a モバイルブロードバンドカードから 2 本のアンテナケーブルを外します。



1	モバイルブロードバンドカード	2	アンテナケーブルコネクタ（2）

b モバイルブロードバンドカードが少し持ち上がるまでコンピュータの前面方向に金属固定タブを押して、モバイルブロードバンドカードを取り外します。

c モバイルブロードバンドカードを持ち上げてシステム基板のコネクタから取り外します。



1　金属製固定タブ（2）

注意 : コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、カードとシステム基板のコネクタを確認し、カードを再配置してください。

6 次の手順で、交換用モバイルブロードバンドカードを取り付けます。

a モバイルブロードバンドカードをシステム基板のコネクタに 45 度の角度で差し込み、カチッという感触があり、所定の位置に収まるまでモバイルブロードバンドカードのもう一方の端を固定タブに押し下げます。



注意：モバイルブロードバンドカードへの損傷を避けるために、カードの下にケーブルがないことを確認してください。

b モバイルブロードバンドカードに 2 本のアンテナケーブルを接続します（黒色のケーブルを「AUX」というラベルの付いたコネクタに、白色のケーブルを「MAIN」というラベルの付いたコネクタに接続します）。



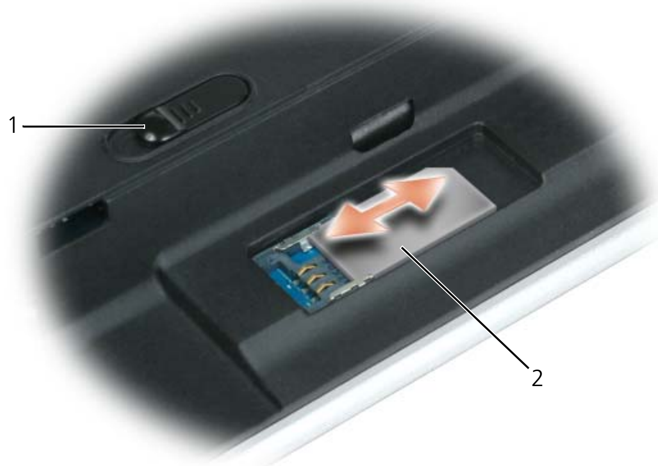
1 アンテナケーブルコネクタ（2）

サブスクライバ識別モジュール（SIM）カード

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : システム基板への損傷を避けるために、コンピュータ内部の作業を開始する前にメインバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。



1	バッテリーベイリリースラッチ	2	SIM カード

注意 : カードを静電気放出（ESD）から保護するため、SIM カードコネクタには触れないで下さい。ESD を防止するには、カードを手に持ってから、挿入または取り外しを行います。

2 カードの角が切り取られている方をスロットから遠ざけて SIM カードをスロットに挿入し、両側の金属タブの下にスライドさせます。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カード

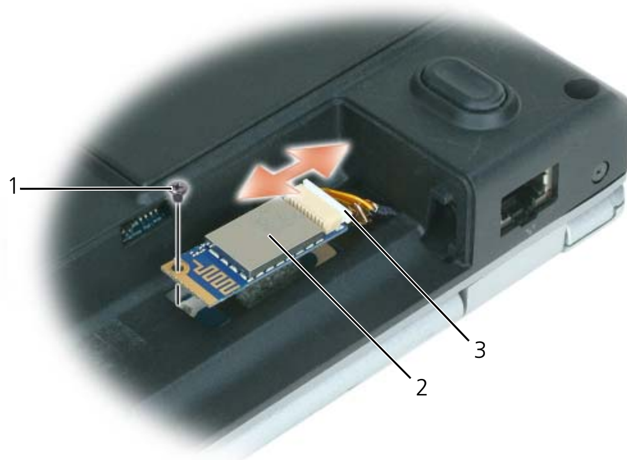
警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

Bluetooth ワイヤレステクノロジのカードを購入された場合は、お使いのコンピュータにすでにインストールされています。

注意 : システム基板への損傷を避けるために、コンピュータ内部の作業を開始する前にメインバッテリーをバッテリーベイから取り外してください。

1 109 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
2 カードのネジを外します。
3 指またはプラスチックスクライブを使用して実装部からカードを慎重に引き出し、ケーブルからカードを外し、コンピュータから取り外します。
4 カードを取り付ける場合は、カードをケーブルに接続し、慎重にカードを実装部に挿入します。
5 カードネジを取り付けます。



1	カードのネジ	2	Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カード	3	カードコネクタ

13

Dell™ QuickSet

 **メモ：**この機能はお使いのコンピュータで使用できない場合があります。

Dell™ QuickSet を使用すると、以下の設定タイプに簡単にアクセスして設定または表示することができます。

- ネットワーク接続性
- 電力の管理
- ディスプレイ
- システム情報

Dell™ QuickSet で実行する内容によって、Microsoft® Windows® のタスクバーにある QuickSet アイコン をクリック、ダブルクリック、または右クリックして、QuickSet を開始します。タスクバーは画面の右下隅にあります。

QuickSet の詳細に関しては、QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** を選択してください。

14

コンピュータを携帯する場合

コンピュータの所有者の証明

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。
- コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**PC の所有者** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているかを確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。PC カードに接続されているすべてのケーブルを外し、すべての拡張型 PC カードを取り外します（69 ページの「カードの使い方」を参照）。
- コンピュータをなるべく軽くするため、モジュールベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
- メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- コンピュータをシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。

注意：ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。

注意：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。

- コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

 **注意 :** データ損失を防ぐためにオプティカルドライブを使用している間は、コンピュータを動かさないでください。

 **注意 :** コンピュータを荷物として預けないでください。

- バッテリーの動作時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にしてみます。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、コンピュータ側面のワイヤレススイッチを使用します。ワイヤレススイッチの使い方については、80 ページの「Dell™ Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照してください。
- バッテリー駆動時間を最大にするために、電力の管理オプションの設定を変更してみます（41 ページの「電源管理の設定」を参照）。
- 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用権を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 渡航先の国ではコンセントの形状がどのタイプなのか確認しておいて下さい。また、それに合ったパワーアダプターを携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

航空機内での利用

 **注意 :** コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

- 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、AC アダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、コンピュータの使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

15

デルへのお問い合わせ

コンピュータ上でデルへお問い合わせいただくには、次のウェブサイトにアクセスしてください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（サポート）

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E- メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 **メモ：**記載のお問い合わせ情報は、このドキュメントが印刷された時点で正しいと判断されたものであり、変更される場合があります。

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**部署名またはサービス地域、** **ウェブサイトおよび E- メールアドレス**	**市内番号** **フリーダイヤル**
日本（川崎）	Web サイト：**support.jp.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**001**	テクニカルサポート（XPS）	フリーダイヤル：0120-937-786
国番号：**81**	日本国外のテクニカルサポート（XPS）	044-520-1235
市外局番：**44**	XPS カスタマーケア（ご注文の品が不足していたり、配送中に破損した場合）	044-556-4240
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-5963
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

16

仕様

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel® Core™ Duo、Intel Celeron® M、または Intel Pentium® M プロセッサ
L1 キャッシュ	32 KB
L2 キャッシュ	1 MB、2 MB
外付けバスの周波数（FSB）	533 MHz および 667 MHz

システム情報	
システムチップセット	Mobile Intel 945 GM Express または Mobile Intel 945 PM Express
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	4 MB
グラフィックスバス	64 ビット
PCI バス	32 ビット

ExpressCard	
ExpressCard コントローラ	Intel ICH7
ExpressCard コネクタ	ExpressCard スロット（54 mm）X 1
サポートするカード	ExpressCard/34（34 mm）および ExpressCard/54（54 mm）
	3.3 V および 1.5 V
ExpressCard コネクタサイズ	26 ピン

5-in-1 メディアメモリカードリーダー	
5-in-1 メディアメモリカードコントローラ	Ricoh R5C832
5-in-1 メディアメモリカードコネクタ	5-in-1 コンボカードコネクタ
サポートするカード	MS MS Pro SD/SDIO MMC xD
5-in-1 メディアメモリカードコネクタのサイズ	36.8 x 29.3 x 4.75 mm

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	SODIMM コネクタ X 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、1 GB、および 2 GB
メモリのタイプ	1.8 V SODIMM DDR 2
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	4 GB

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイク / ライン入力コネクタ、ヘッドフォンコネクタ × 2 **メモ：**マイク / ライン入力コネクタおよびヘッドフォンコネクタは、5.1 サラウンドサウンドモードへの切り替えに使用できます（65 ページの「サウンドモード」を参照)。
IEEE 1394a	4 ピン シリアルコネクタ
ミニカード	タイプ II ミニカードスロット × 2
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
S ビデオ TV 出力	7 ピン ミニ DIN コネクタ（S/PDIF、S-video、ドングル使用のコンポジットビデオ、およびコンポーネントビデオのコネクタ付きのオプションアダプタケーブル）
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ X 4
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）

通信	
モデム：	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	Intel ハイ・デフィニッション・オーディオ
ネットワークアダプタ	システム基板にある 10/100 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵 PCI-e ミニカードワイヤレス LAN またはモバイルブロードバンドサポート、および Bluetooth® ワイヤレステクノロジサポート

ビデオ

メモ： コンピュータの購入時に、オプションのビデオコントローラのアップグレードができます。お使いのコンピュータの構成を確認するには、15 ページの「お使いのコンピュータの構成確認」を参照してください。

ビデオタイプ：	システム基板内蔵
ビデオコントローラ	Intel® 945 GM
ビデオメモリ	最大 128 MB の共有メモリ（システムメモリが 256 MB の場合）または 224 MB の共有メモリ（システムメモリが 512 MB 以上の場合）
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオ、ドングル使用のコンポジット、およびコンポーネントモードでの NTSC または PAL
ビデオタイプ：	外付けビデオカード
データバス	PCI Express X16
ビデオコントローラ	NVIDIA GeForce Go 7400
ビデオメモリ	64 MB（最大で合計 256 MB 共有メモリ）
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオ、コンポジット、およびコンポーネントモードでの NTSC または PAL
カメラ	Logitech、オプション、ディスプレイベゼルに内蔵、1.3 MP、ビデオ解像度 640 x 480 @ 30 / 秒、約 240 度回転、カメラを後方に傾けると画像が反転、青色のカメラライトでカメラアプリケーションの動作を表示

オーディオ	
オーディオタイプ	2 チャネルハイ・デフィニッション・オーディオコーデック
オーディオコントローラ	Sigmatel STAC9220 Codec
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	Intel ハイ・デフィニッション・オーディオ
外付け	マイク / ライン入力コネクタ、ヘッドフォン / スピーカー × 2
スピーカー	4 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	1 W チャネル（4Ω）
ボリュームコントロール	プログラムメニュー、メディアコントロールボタン
マイク	指向性ハイパーカージオイドマイク、カメラに内蔵、カメラと共に回転、内蔵カメラのみで使用可能

ディスプレイ	
タイプ（アクティブマトリックス TFT）	12.1 インチ WXGA（True Life）
寸法：	
縦幅	163.2 mm
横幅	261.12 mm
対角線	307.93 mm
最大解像度	1280 × 800、16,700,000 色
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0（閉じた状態）～ 180°
可視角度：	
水平方向	±40° 標準
垂直方向	+10° / –30°
ピクセルピッチ	0.204 mm
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能（34 ページの「ディスプレイ関連」を参照）

キーボード	
キー数	87（アメリカ、カナダ）、88（ヨーロッパ）、91（日本）
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	73.0 mm（センサー感知領域）
縦幅	42.9 mm の長方形

バッテリー	
タイプ	6 セル「スマート」リチウムイオン 9 セル「スマート」リチウムイオン
寸法：	
長さ	49 mm（6 セル） 60.1 mm（9 セル）
縦幅	24 mm
横幅	206.8 mm
電圧	11.1 VDC
充電時間（概算）：	
電源が切れている場合	1 時間（6 セル）（Dell™ ExpressCharge™） 2 時間（9 セル）
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。97 ページの「電源の問題」を参照してください。 バッテリーの動作時間の詳細に関しては、37 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
寿命（概算）	300 回（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 60 ℃
コイン型電池	CR-2032

AC アダプタ	
入力電圧	90 ～ 264 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	47 ～ 63 Hz
出力電流	4.34 A（最大 4 秒パルス）、 3.34 A（65 W）（連続）
出力電力	65 W
定格出力電圧	19.5 +/–1.0 VDC
寸法：	
縦幅	28.2 mm
横幅	57.9 mm
長さ	137.2 mm
重量（ケーブル含む）	0.4 kg
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
携帯用アダプタ	オプション

サイズと重量	
縦幅	31.4 mm
横幅	299 mm
長さ	220.98 mm
重量（6 セルバッテリーおよびオプティカルドライブ搭載の場合）	1.98 kg

環境	
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：	
動作時	0.9 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃（ヘッド固定位置のハードドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定したとき）：	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度（最大）：	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m

17

付録

セットアップユーティリティ画面の使い方



メモ : セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページを参照してください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブパスワードの設定
- 電源管理設定
- 起動（スタートアップ）設定および画面設定
- ドッキングデバイス設定
- ワイヤレスコントロール設定



注意 : 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

セットアップユーティリティ画面

セットアップユーティリティ画面は、3 つの情報ウィンドウで構成されています。左側のウィンドウには、管理項目がサブカテゴリーを内に含む状態で表示されます。項目（**System**、**Onboard Devices**、**Video** など）を選択（ハイライト表示）して <Enter> を押すと、関連するサブ項目を表示または非表示にできます。右側のウィンドウには、左側のウィンドウで選択されている項目またはサブ項目に関する情報が表示されます。

下部のウィンドウに、キー操作でセットアップユーティリティを制御する方法が示されます。これらのキーを使用して、項目の選択、その設定の変更、セットアップユーティリティの終了などの操作をします。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序 は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

 **メモ：**一回のみ起動順序を変更するには、146 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Internal HDD**
- **USB Storage Device**
- **CD/DVD/CD-RW drive**
- **Modular bay HDD**

 **メモ：**前に番号が付いているデバイスだけが起動可能です。

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは前に番号が付いており、無効にされたアイテムは前に番号が付いていません。
- リスト内のデバイスの順序を変更するには、デバイスをハイライト表示し、<u> を押してデバイスをリストの上部に移動するか、または <d> を押してリストの下部に移動します。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータをコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。
4. 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

コンピュータのクリーニング

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータ、キーボード、および ディスプレイ

警告 : コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータのプラグをコンセントから外し、取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- 圧縮エアースプレーを使って、キーボード上のキーの間などにあるゴミを取り除き、ディスプレイの埃や糸くずを取り除きます。

注意 : コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 糸くずのでない柔らかい布を水またはディスプレイ専用クリーナーで湿らせます。アルコールやアンモニアベースのクリーナーは使用しないでください。ディスプレイの中心から端に向かって丁寧に拭き取り、ディスプレイの汚れや指紋を取り除きます。力を入れ過ぎないでください。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにします。

タッチパッド

1 シャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。109 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照してください。
2 コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
3 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。37 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
4 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにします。

フロッピードライブ

注意 : 綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットでフロッピードライブをクリーニングします。これらのキットには、通常の使用によって付いたドライブヘッドの汚れを落とすように前処理されたフロッピーが入っています。

CD および DVD

注意 : CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

注意 : 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつける恐れがあります。

2 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

   頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

カメラ

 **注意 :** カメラのレンズを傷つけたり、曇らせたりしないために、カメラのクリーニングには溶剤や研磨剤を使用しないでください。

クリーニングを行うには、湿らせた柔らかい布でカメラをふき、柔らかく糸くずの出ない布で湿気を完全にふき取ってください。

デルテクニカルサポート規定（米国のみ）

技術者によるテクニカルサポートは、トラブルシューティングの過程でカスタマーの協力と参加を必要とします。このサポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェアプログラム、およびハードウェアドライブをデルの出荷時のデフォルト設定に戻し、コンピュータの機能とデルが取り付けたすべてのハードウェアの機能が適切かどうかを検証します。この技術者によるテクニカルサポートに加えて、**support.jp.dell.com** でオンラインによるテクニカルサポートが利用できます。追加のテクニカルサポートのオプションについては、購入時にご利用いただける場合があります。

デルは、コンピュータと「デルがインストールまたは取り付けを行った」ソフトウェアや周辺機器 [1] に対し、限定的なテクニカルサポートを提供します。サードパーティのソフトウェアや周辺機器については、製造元のメーカーがサポートを行います。これらのソフトウェアや周辺機器には、デルの Software and Peripherals、Readyware、および Custom Factory Integration[2] を通じて購入またはインストールされたものが含まれます。

1 修理サービスは、お客様の限定保証やコンピュータ購入時に申し込まれたオプションのサポートサービス契約の条件に従って提供されます。

2 Custom Factory Integration（CFI）プロジェクトに含まれるすべてのデル標準コンポーネントは、お客様のコンピュータの標準的なデル限定保証により保証されます。ただし、デルも部品交換プログラムを延長し、コンピュータのサービス契約の期間中は、CFI を通じて組み込まれたすべての標準以外のサードパーティのハードウェアコンポーネントを保証します。

「デルがインストールまたは取り付けを行った」ソフトウェアと周辺機器の定義

デルがインストールしたソフトウェアには、オペレーティングシステムと製造過程でコンピュータにインストールされた複数のソフトウェアプログラムが含まれます（Microsoft® Office、Norton Antivirus など）。

デルが取り付けた周辺機器には、すべての内部拡張カードや、デルブランドのモジュールベイまたは ExpressCard のアクセサリが含まれます。さらに、すべての Dell ブランドのモニター、キーボード、マウス、スピーカー、電話モデム用マイク、ドッキングステーション / ポートリプリケータ、ネットワーキング製品、およびすべての関連ケーブルが含まれます。

「サードパーティ」のソフトウェアと周辺機器の定義

サードパーティのソフトウェアと周辺機器には、デルが販売した Dell ブランド以外のすべての周辺機器、アクセサリ、またはソフトウェアプログラムが含まれます（プリンタ、スキャナー、カメラ、ゲームなど）。サードパーティのソフトウェアや周辺機器のサポートについては、すべて製品の製造メーカーから提供されます。

FCC 規則（米国のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件にしたがって使用してください。

- 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
- 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

 **注意 :** FCC 規則では、デルによって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されています。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してシステムを再配置してください。
- 受信機からシステムを遠ざけてください。
- システムを別のコンセントにつないで、システムと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細については、デルの担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

製品名：	Dell™ XPS™ M1210
モデル番号：	PP11S
会社名：	Dell Inc. Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400

Macrovision 製品通知

この製品には、米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current（交流）— コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと流れる電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

AHCI — Advanced Host Controller Interface — SATA ハードドライブ対応のホストコントローラです。AHCI を使用することにより、ストレージドライバでネイティブコマンドキューイング（NCQ）やホットプラグなどのテクノロジが使用可能になります。

ASF — alert standards format — ハードウェアおよびソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BIOS — basic input/output system（基本入出力システム）— コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれています。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ — 短距離内（9 メートル）にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU — British thermal unit（英国熱量単位）— 熱量の単位です。

C

C — セルシウス（摂氏）— 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。

CD-RW drive — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書）— Windows の英数文字のコードで、コンピュータのラベルに印刷されています。Product Key（プロダクトキー）や Product ID（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）— メモリチップのない特別なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに取り付けます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）— データバーストサイクルを倍にして、システムの性能を向上させる SDRAM の一種です。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM（ダブルデータ速度 2 SDRAM）— 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

DIMM — dual in-line memory module — システム基板上のメモリモジュールに接続する、メモリチップ搭載の回路基板です。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は、PS/2 キーボードまたはマウスケーブルのコネクタを接続するために使用します。

DMA — direct memory access — DMA チャネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサが搭載された集積回路に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線）— アナログ電話回線を介して高速インターネット接続を常時提供するテクノロジです。

DVD-R — DVD recordable — 記録可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD やほとんどの CD メディアを読み込んだり、DVD+RW（書き換え可能 DVD）に書き込んだりすることができるドライブです。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース）— コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル送信の標準です。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）— メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの拡張仕様の 1 つです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害）— 電磁放射線によって引き起こされる電気障害です。

ENERGY STAR® — Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの仕様の 1 つです。

ESD — electrostatic discharge（静電気放出）— 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

FBD — fully-buffered DIMM — DDR2 DRAM チップ、および DDR2 SDRAM チップとシステム間の通信を高速化するアドバンスドメモリバッファ（AMB）を搭載した DIMM です。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）— コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）— インターネットに接続されたコンピュータ間で、ファイルを交換するための標準インターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB（1,073,741,824 バイト）です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーと相互にやり取りするソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されたコンピュータ間でファイルを交換するためのプロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

I

IC — integrated circuit（集積回路）— コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板、またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output（入出力）— コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力する動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association — 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

IRQ — interrupt request（割り込み要求）— デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ）— ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kb は、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network（ローカルエリアネットワーク）— 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

LCD — liquid crystal display（液晶ディスプレイ）— ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode（発光ダイオード）— コンピュータの状態を示す光を発する電子部品です。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続のためのポートです。

LVDS — low-voltage differential signaling（低電圧差動伝送）の略です。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — 1,048,576 バイトに相当するデータストレージの単位です。または 1,024 KB を表します。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間に 1,000,000 サイクルで 1 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

MP — メガピクセル — デジタルカメラで使用される画像の解像度の単位です。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ）— コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/ 秒～ 4 GB/ 秒の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIO — programmed input/output — データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test（電源投入時の自己診断）— BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。-

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE — pre-boot execution environment — WfM（Wired for Management）標準で、オペレーティングシステムのないネットワークコンピュータを設定して、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory（ランダムアクセスメモリ）— プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference（無線電波障害）— 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock（リアルタイムクロック）— システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset（リアルタイムクロックリセット）— いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SAS — serial attached SCSI — 原型の SCSI パラレルアーキテクチャとは対照的に、より高速のシリアルバージョンの SCSI インタフェースです。

SATA — serial ATA（シリアル ATA）— より高速のシリアルバージョンの ATA（IDE）インタフェースです。

SCSI — small computer system interface — ハードドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナーなどのデバイスをコンピュータに接続するための高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

SIM — サブスクライバ識別モジュール — SIM カードには、音声通信およびデータ通信を暗号化するマイクロチップが内蔵されています。SIM カードは、電話およびノートブックコンピュータで使用できます。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ —（コンピュータの電源がオンまたはオフに関わらず）コンピュータが共振ショックを受けた場合、または落下した場合に制動装置として機能し、ハードディスクドライブを保護するプラットフォームベースの強化領域です。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

TPM — trusted platform module — ハードウェアベースのセキュリティ機能です。セキュリティソフトウェアと併用して、ファイル保護や E- メール保護などの機能を有効にすることにより、ネットワークおよびコンピュータのセキュリティを強化します。

U

UMA — unified memory allocation（統合メモリ振り分け）— ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply（無停電電源装置）— 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus（ユニバーサルシリアルバス）— USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットがコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）— ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr — ワット時 — バッテリーのおおよその充電容量を表すのに通常使われる単位です。たとえば、66 WH r のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

WLAN — Wireless Local Area Network（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）の略です。相互接続され、電波を介して互いに通信する一連のコンピュータです。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターを使用してインターネットにアクセスできます。

WWAN — Wireless Wide Area Network（ワイヤレスワイドエリアネットワーク）の略です。セルラーテクノロジを使用した、ワイヤレスの高速データネットワークで、WLAN よりもはるかに広い地域に対応します。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E- メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。

オプティカルドライブ — CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

オンボード — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。<u>ビルトイン</u>とも呼ばれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 — ファイルやメディアのデータ内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けた際に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ — 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動ディスク — コンピュータを起動するために使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

起動 CD — コンピュータを起動するために使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。お使いの『Drivers and Utilities CD』（または『Resource CD』）が起動 CD です。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHｚ で示される速度です。

グラフィックスモード — x 水平ピクセル数 X y 垂直ピクセル数 X z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するためのユーティリティです。

さ

サージプロテクタ — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因で）から、コンピュータを保護します サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータのメイン回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

指紋リーダー — 固有の指紋を使ってユーザーの身元証明を行うストリップセンサーで、コンピュータのセキュリティ保護をサポートします。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — Microsoft のユーティリティで、ファイル、フォルダ、ハードディスクの表面のエラーをチェックします。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する、省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブルを利用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するために使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

た

通行許可証 — 物品を外国へ一時的に持ち込む場合、一時輸入通関ができる通関手帳です。商品パスポートとも呼ばれます。

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

テキストエディター — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ — ドライバを参照してください。

デュアルコア —1 つのプロセッサパッケージに 2 つの物理計算ユニットを集積し、それによって計算効率とマルチタスク機能を向上させた Intel® テクノロジです。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルモニタとも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス — APR を参照してください。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

ハイパーカージオイド — カージオイドマイクよりも狭いパターンを拾うことのできる、高指向性のハイパーカージオイドマイクです。

ハイパースレッディング — 1 つの物理プロセッサを 2 つの論理プロセッサとして機能させ、特定のタスクを同時に実行できるようにすることで、コンピュータのパフォーマンス全般を強化する Intel テクノロジです。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バッテリー駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーでコンピュータを駆動できる持続時間（分または時間）です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル — ディスプレイ画面の構成単位である点です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ファーレンハイト（華氏）— 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — デバイスを自動的に設定するコンピュータの機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ま

ミニカード — 通信用 NIC など内蔵周辺機器用に設計された小型のカードです。ミニカードの機能は、標準の PCI 拡張カードと同等です。

ミニ PCI — モデムや NIC など通信機能を主とする内蔵周辺機器の規格です。ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカードです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E- メールの交換に使用されます。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（垂直周波数とも呼ばれます）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

索引

ら

わ